スマートシティ官民連携プラットフォーム

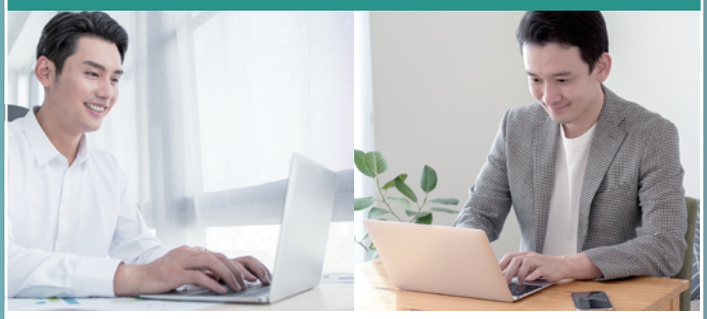
スマートシティ実現に向けた オンライン ニーズ シーズ マッチングイベント

参加無料
同時視聴 1,000名まで（先着順）

1 ニーズ・シーズ発表

各団体によるニーズ・シーズの
プレゼンテーションを
オンラインにて実施します。

2 オンライン個別面談



マッチングに向けた
1対1の面談を
オンラインにて実施します。

開催日時

2021年
3月2日（火）・3日（水）
10:00〜16:00

オンライン会議システム「ZOOM」を使用して、❶ニーズ・シーズ発表、❷オンライン個別面談を開催します。

❶ ニーズ・シーズ発表：3月2日（火）

各団体15分程度のニーズ・シーズの発表を行い、その後5分程度の質疑応答の時間を設けます。

❷ オンライン個別面談：3月2日（火）・3日（水）

発表団体と個別面談を希望する方との間で、マッチングに向けた1対1の個別面談を行います。

	3月2日（火）				3日（水）
	❶ ニーズ・シーズ発表			❷ オンライン個別面談 10:00 - 16:00	❷ オンライン個別面談 10:00 - 16:00
10	1部 10:00 - 12:00	① 大阪府 ② 加古川市 ③ 福島産業創生協議会 ④ 横須賀市 ⑤ さいたま市	① アイシン精機㈱ ② ㈱シェアショーファー ③ TOA㈱ ④ ㈱ナイトレイ ⑤ ㈱マクニカ	① インテル㈱ ② PwCコンサルティング合同会社 ③ Vivasia S&C㈱ ④ ㈱福山コンサルタント ⑤ 京セラコミュニケーションシステム㈱	
11					
12					
13	2部 13:00 - 14:35	⑥ ㈱竹中工務店 ⑦ ABB日本ベーレー㈱ ⑧ 清水建設㈱ LCV事業本部 ⑨ みやまパワーHD㈱	⑥ ㈱アルボル ⑦ キヤノンマーケティングジャパン㈱ ⑧ ㈱JTB（観光予報プラットフォーム推進協議会） ⑨ ㈱unerry	⑥ 京セラ㈱ ⑦ ㈱JX通信社 ⑧ ㈱デンソー ⑨ 三井住友建設㈱	
14					
15	3部 14:50 - 16:00	⑩ ㈱アウトソーシングテクノロジー ⑪ ㈱フジタ ⑫ ㈱ラック	⑩ 朝日航洋㈱ ⑪ ㈱大林組	⑩ エバタ㈱、秩父ケミカル㈱ ⑪ ミネベアミツミ㈱	

※詳細については、「プログラム」及び「発表団体のご紹介」をご覧ください。

参加申し込み

❶ニーズ・シーズ発表の視聴を希望される方（マッチングを目的とした方に限ります。）は、下記「申込URL」又は「QRコード」よりお申込みください。

申込URL	https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=0LSwzJBFwkWgh8B3QMMMbKxG8iCpffFHoSjs1h9GldtUMDhSTEJISTNZRzc5NzUyU1IDMDdCOFoyOC4u	QRコード	
申込期限	2021年2月25日（木） 17:00（定員に達し次第、申込を締め切ります。）		

※セキュリティ等の関係で上記「申込URL」での申込みがで出来ない場合は、「scpf@mizuho-ri.co.jp」までご連絡ください。
折り返し、Wordの申込書をお送りします。

❷発表者とのオンライン個別面談については、2月20日頃にオープンするオンラインマッチングイベント専用サイトより、お申込みいただくことを予定しております。

スマートシティ官民連携プラットフォーム事務局

内閣府 総務省 経済産業省 国土交通省

TEL：03-5253-8411（対応時間：平日10時～17時 ※12時～13時除く）
E-mail：hqt-scpf@gxb.milt.go.jp
※電話は国土交通省都市局都市計画課につながります。

運営受託者
みずほ総合研究所
社会・公共アドバイザリー部内
E-mail：scpf@mizuho-ri.co.jp

オンラインマッチングイベント
プログラム

タイムテーブル 【ニーズ・シーズ発表】

■2021年３月２日（火）に、ニーズ・シーズの発表を行います。
■各団体15分程度のニーズ・シーズ発表を行い、その後５分程度の質疑応答の時間を設けます。（計20分）
■各団体の発表時間帯は以下の通りです。（時間が前後する場合があります）
■各団体の発表概要は、本プログラムのP.2～P.10をご参照ください。

ニーズ発表　シーズ発表

		Channel-A	Channel-B	Channel-C
10	10:00 -10:20	【A-01】大阪府 『大阪府内の市町村が抱える移動課題と、スマートモビリティについて』	【B-01】アイシン精機㈱ 『オンデマンド交通「チョイソコ」のご紹介』	【C-01】インテル㈱ 『DX推進に向けて、地域でのデジタル人材育成をお手伝いします』
	10:25 -10:45	【A-02】加古川市 『加古川市における安全安心の取り組みについて』	【B-02】㈱シェアショーファー 『新しい日常の「お出掛け」サービス』	【C-02】PwCコンサルティング合同会社 『都市を舞台にしたフィジカル・デジタルの連携による都市機能のスマート化』
	10:50 -11:10	【A-03】福島産業創生協議会 『復興FUKUSHIMAスマートシティ・プロジェクト』	【B-03】TOA㈱ 『「音」で繋がる『笑顔あふれるまちづくり』』	【C-03】Vivasia S&C㈱ 『スマートタワー（Dicecell）の活用について』
11	11:15 -11:35	【A-04】横須賀市 『ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジのご紹介』	【B-04】㈱ナイトレイ 『スマートシティ構想におけるロケーションビッグデータを活用した都市・地域課題解決』	【C-04】㈱福山コンサルタント 『当社のスマートシティへの取り組みとソリューション』
	11:40 -12:00	【A-05】さいたま市 『都市OSとしての共通プラットフォームさいたま版の活用』	【B-05】㈱マクニカ 『自動運転車両活用による移動支援と走行によって得られるデータ利活用ソリューション』	【C-05】京セラコミュニケーションシステム㈱ 『自治体様・地域事業者様と取り組む「モビリティサービス」と「地域インフラ事業」のご紹介』
12				
13	13:00 -13:20	【A-06】㈱竹中工務店 『サステナブルなスマートコミュニティ・スマートシティへ技術と総合力で貢献します』	【B-06】㈱アルボル 『AI活用型コミュニケーション・ロボを活用した観光ガイドについて』	【C-06】京セラ㈱ 『安心・安全な地域社会実現に貢献する京セラコネクティングサービス』
	13:25 -13:45	【A-07】ABB日本ベーレー㈱ 『スマートシティにおけるエネルギーの最適化』	【B-07】キヤノンマーケティングジャパン㈱ 『地域資源の魅力再構成と先端テクノロジーによるプロモーション』	【C-07】㈱JX通信社 『SNS緊急情報サービス「FATALERT」によるスマートAI防災の廉価な実現』
	13:50 -14:10	【A-08】清水建設㈱ LCV事業本部 『清水建設による地域の再生可能エネルギーを活用した防災・減災力強化事業』	【B-08】㈱JTB（観光予報プラットフォーム推進協議会） 『ビックデータの有効活用によるEBPM(証拠に基づく事業・政策立案)と効率化、生産性の向上』	【C-08】㈱デンソー 『地域の非常時と平常時の安心・安全を実現するデンソーの社会ソリューション』
14	14:15 -14:35	【A-09】みやまパワーHD㈱ 『ゼロカーボンシティ実現に向けた「地域内環境価値の取引」や「地域通貨への応用」』	【B-09】㈱unerry 『スマートシティに向けた行動ビッグデータ活用最前線』	【C-09】三井住友建設㈱ 『災害（地震）に強いスマートシティの実現』
	14:50 -15:10	【A-10】㈱アウトソーシングテクノロジー 『地方創生へ向けた取り組みと課題解決』	【B-10】朝日航洋㈱ 『3D都市モデル、IoT/ビッグデータを活用した防災減災・インフラモニタリング支援』	【C-10】エバタ㈱、秩父ケミカル㈱ 『「水循環」の改善技術で、スマートシティ実現への提案』
15	15:15 -15:35	【A-11】㈱フジタ 『フジタにおけるスマートシティの取組』	【B-11】㈱大林組 『データプラットフォーム「SCIM」を核としたスマートサービスの提供』	【C-11】ミネベアミツミ㈱ 『スマート道路照明とスマートシティソリューション』
	15:40 -16:00	【A-12】㈱ラック 『スマートシティ/スーパーシティ向けセキュリティサービス構想 "town"』		

発表内容のご紹介

ニーズ

A-01 大阪府

大阪府内の市町村が抱える移動課題と、スマートモビリティについて

■ 大阪府の取組み
- 大阪スマートシティ戦略の方向性について
  令和２年３月に策定した「大阪スマートシティ戦略Ver.1.0」の3つの基本姿勢の紹介や、府域での展開イメージ、スマートモビリティに関する内容など
- 大阪スマートシティパートナーズフォーラム（OSPF）について
  OSPFの枠組みの紹介や、現在進行中のプロジェクトに関する内容など

■ 大阪府内市町村のモビリティ分野における課題など
- 大阪府内市町村が抱える移動課題とニーズについて
  大阪府内の市町村が抱える移動を中心とした課題の類型や、これまでにわかってきた課題など
- 大阪府内での先行事例について
  モビリティ分野における先行事例など
- 具体的な市町村の移動課題の例について
  岸和田市などを題材として具体例を紹介：まちづくりにおける拠点整備に伴い、企業の皆様等に期待する取組み　等

大阪府

http://www.pref.osaka.lg.jp/it-suishin/sc/index.html

A-02 加古川市

加古川市における安全安心の取り組みについて

- 平成30年度より運用している見守りカメラ1,475台のリプレースについて
- BLEタグ検知器のさらなる活用
- ３D都市モデルを活用したまちづくり
- 地域BWAネットワークを活用したまちづくり

加古川市
KAKOGAWA CITY

https://city.kakogawa.lg.jp

A-03 福島産業創生協議会

復興FUKUSHIMAスマートシティ・プロジェクト

1）プロジェクト概要と福島産業創生協議会の説明
2）震災と原発事故当時から現状に至る説明
3）現状の課題と過去10年の被災地における様々な事業紹介
4）新たなプロジェクト紹介
  1.広域連携型の先端的なコネクティッド・ライフ環境プラットフォームの構築
  2.エネルギー・データ・交通インフラ等の地産地消システム
  3.FUKUSHIMA被災地　林業再生PLAN
  4.エッセンシャルワーカーによる医療・介護・見守り・物流配送等の社会補完サービスシステムの開発
5）「復興FUKUSHIMAスマートシティ・プロジェクト」全体像

https://ficc-2019.localinfo.jp/

A-04 横須賀市

ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジのご紹介

1．横須賀市が抱える社会的課題
- 人口約40万人の中核市である横須賀市が抱える課題についてお話しします。

2．ヨコスカ×スマートモビリティチャレンジについて
- なぜ、横須賀市が「ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ」を開始したのか、強力な推進体制、スカモビのビジョンである「横須賀スマートモビリティ宣言」、宣言に基づく支援パッケージなどをご紹介します。

3．スカモビ支援プロジェクトについて
- 2019年度、2020年度に実施または進行中の主なプロジェクトについてご紹介します。特に、全国初の要素を持ったプロジェクトや、横須賀市がプロジェクト実施者に対して行った支援内容なども併せてご説明します。

4．スカモビ・チャレンジネットワークのご紹介
- スカモビの活動をより広く展開していくため、ニーズオリエンテッドな新規実証プロジェクトの創出、企業等とのネットワーキングを目的とした連携の枠組みをご紹介します。

ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ
YOKOSUKA × Smart Mobility Challenge

https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/index.html

A-05 さいたま市

都市OSとしての共通プラットフォームさいたま版の活用

・さいたま市では、美園地区で美園タウンマネジメント協会を設立し、43の大学・民間企業等、公民＋学の連携によりスマートシティの推進に取組んでおります。

・スマートシティの対象分野は市民生活を構成するあらゆる分野としていますが、特にデータビジネスに注力しており、平成29年度に情報共通基盤である「共通プラットフォームさいたま版」を構築し、ヘルスケアやスポーツ分野等でデータの利活用を行う実証事業を行ってきた実績を有し、モビリティ分野のデータ利活用にも取り組んでまいります。

・令和3年度は「共通プラットフォームさいたま版」をスマートシティ・リファレンスアーキテクチャに基づき改修することで、都市OSとして、多くの自治体さまとの共同利用を考えております。

・弊市が有するノウハウや、これまでの取組概要、今後の展開方針について、お話しさせていただきたく存じます。

さいたま市

https://www.city.saitama.jp

A-06 ㈱竹中工務店

サステナブルなスマートコミュニティ・スマートシティへ技術と総合力で貢献します

・社会課題を解決し、新たな社会システムを構築するスマートシティは世界的潮流です。

・竹中は、スマートシティを人を中心に建物やサービス・ビジネスをつなげるスマートコミュニティと捉え、まちの課題に対するソリューションと総合力で、新たな価値を生み出し、「活力魅力」「環境共生」「安全安心」をもたらす、サステナブル社会の実現に貢献します。

・先行して実施している建物のスマート化技術を街区に展開し、エネルギーやセンサー情報、人の流れなどを統合集約して、そこから産み出される新たな価値をご提供します。

想いをかたちに 未来へつなぐ

TAKENAKA

https://www.takenaka.co.jp/

A-07 ABB日本ベーレー㈱

スマートシティにおけるエネルギーの最適化

・最適化演算エンジに：ABB Ability™ OPTIMAX®

・再生可能エネルギーを含むエネルギー最適化はスマートシティ構築において必要不可欠と考えます。

・OPTIMAX®は太陽光発電、蓄電池、EV、発電設備、域内の負荷等、複数種類のリソースを束ね、自家消費率の最大化、売電量の増大、CO2最小化等を定めた目的を目指し最適化演算、制御指令を送信します。

・接続可能な設備の多様性、スモールスタートが可能な拡張性を備えたシステムの概要及び適用事例を交えてご紹介します。

ABB

www.bailey.co.jp

A-08 清水建設㈱ LCV事業本部

清水建設による地域の再生可能エネルギーを活用した防災・減災力強化事業

・近年、地球温暖化による自然災害の激甚化や大規模な地震などにより、地域社会の社会経済活動および日々の生活の維持や、企業の継続的な事業活動に大きなリスクとなってきています。地域の人々の日常生活や経済活動の持続可能性を確保することが重要です。

・清水建設は、地域の固有資源を活用した再生可能ネルギーを導入することで平時は再生可能エネルギーとして利用しながら、災害時には独立した自立エネルギーとして利用可能な防災・減災力強化事業に取り組んでいます。

・エネルギーの地産地消など多面的な要素で地域の持続可能性を高めます。
是非ご相談ください。

SHIMIZU CORPORATION 清水建設 | SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

清水建設は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。
https://www.shimz.co.jp/company/about/strategy/

https://www.shimz.co.jp/

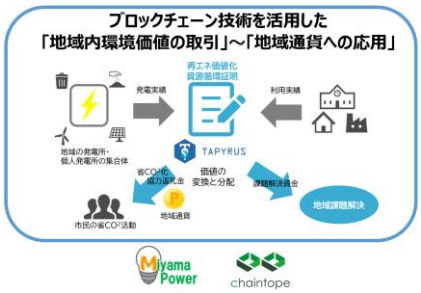
A-09 みやまパワーHD㈱

ゼロカーボンシティ実現に向けた「地域内環境価値の取引」や「地域通貨への応用」

●地域内電力の地産地消は、域内二酸化炭素排出量削減や自立・分散型エネルギーとしての災害時活用などから重要な視点です。また民間企業による再エネ発電所も域内に数多くありますがその電力が地域に有効に活用されていないケースもあります。地方自治体にとって、地域内のごみ発電や再生可能エネルギーを地域で循環していく取り組みが肝要といえる一方、真正性を確認できる環境価値の公開が難しいという課題がありました。私たちは独自のブロックチェーン技術を使い、環境価値の取引を電子証明化することにより、

-地域の再エネや使っている電気がどこでどう作られたのかを知って取引することによる地域全体での環境への啓蒙
-取引された環境価値をJ-クレジットなど市場に販売した対価を地域通貨として住民へ提供

の実現が可能と考えます。「資源循環」の証明の取組を足がかりとし、炭素・人・経済が循環する持続可能な循環共生型社会の構築を支援いたします。



https://www.miyama-phd.jp/

A-10 ㈱アウトソーシングテクノロジー

地方創生へ向けた取り組みと課題解決

● 地方創生に向けた、技術的アプローチによる課題解決のご提案
・具体例：藤枝市くらしシェア（クラウドソーシング）導入・運営、宮崎県ボランティアネットワーク（みやボラン）の導入・運営、スマホ・タブレット端末等カメラが付いているデバイスであれば利用可能な遠隔医療（非接触バイタルセンシング）、各種モビリティの実証実験（西新宿等で実行されている自動運転車両の実路走行試験に伴う安全対策や、自動運転システムの評価を当社メンバーで行っています。）

● 人がやりにくい（やりたがらない）作業の代替提案。
・具体例：ドローンを使用した山間部物流や災害時対応、水中のインフラ老朽化調査等の危険作業を人からドローンへのご提案。

● 工場や倉庫のスマート化による人材不足の解消。

Out-Sourcing! Technology inc.

https://www.ostechnology.co.jpphd.jp/

A-11 ㈱フジタ

フジタにおけるスマートシティの取組

・フジタでは「安全安心」、「サスティナブル」、「健康」なまちづくりを目指して、スマートシティの取組を進めています。

【ウォークスルー顔認証&サーマルシステム】
・新型コロナウイルス等の感染症予防対策として、「ビジネスと現場を止めない」ウォークスルー型の顔認証・体表温測定システムを開発。東大研究室発ベンチャーのOlloとの共同開発により、業界最高レベルの高精度な顔認証・体表温測定を立ち止まることなく、スピーディに行うことが出来ます。

【完全独立型バイオマス発電】
・地域資源であるバイオマスを使った分散型エネルギーの取組を進めています。系統電力に寄らない完全独立型の電源を用いることで電源喪失時や離島でもエネルギー供給を可能とします。

【BIM活用による建物の効率的な維持管理】
・建築のデジタルプロセスであるBIMを活用することで、環境情報、設備機器運転状況等の建物情報を見える化し、効率的な建物維持管理を可能とします。

フジタ

https://www.fujita.co.jp/

A-12 ㈱ラック

スマートシティ/スーパーシティ向けセキュリティサービス構想 "town"

・スマートフォンやキャッシュレス決済などの普及によって人々の生活にも変化の波が押し寄せています。そして情報機器だけに限らず様々な住宅設備や電子機器がネットワークに接続されるIoTも普及が進んできました。
・将来の地域社会においては、地域住民と行政、事業者のほぼすべてがインターネットに接続され、地域住民にむけた様々な行政、医療などの社会基盤サービスもネットワークによって利便性が向上するでしょう。
・このようなスマートシティ/スーパーシティにおいては住民の安心、安全を守るセキュリティサービスが必要不可欠となります。
・ラックでは、これまでセキュリティ事業やシステム開発事業で培った経験を活かし、スマート化された地域社会と住民を守るための、「街全体を見守る総合的なセキュリティ分析サービス（コードネーム：town）」を発表し、その実現に向けた新規事業開発を進めています。

LAC

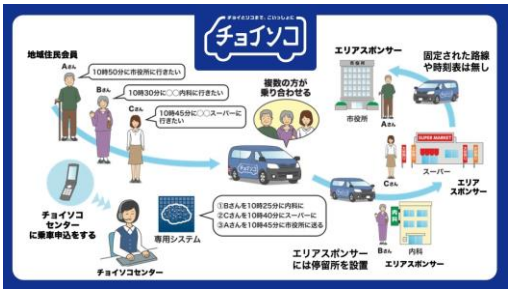
https://www.lac.co.jp/

B-01 アイシン精機㈱

オンデマンド交通「チョイソコ」のご紹介

「使いやすさと継続性を重視したオンデマンド交通サービス」

・オンデマンドの乗り合い送迎サービス「チョイソコ」は2018年7月に愛知県豊明市でそのサービスを開始し、2021年1月時点で全国13の自治体様に拡がっています。
・シンプルなプラットフォームを活かし、それぞれの自治体様のご要望に合わせたフレキシブルな運用をご提供。エリアスポンサーとしての地域企業様、交通業者様や異業種様との連携により継続性を重視した運営を展開しております。
・MaaSの観点から路面検知システムなど移動する車両が得られるデータを自治体様に提供するオプションも準備しております。



www.choisoko.jp

B-02 ㈱シェアショーファー

新しい日常の「お出掛け」サービス

・高齢者の方々へ日常の「お出掛け」サービスを提供しています。・同一地域に居住する複数の利用者により車両と運転手をそれぞれシェアするモデルです。
・これにより、自家用車を持たない方々も自家用車を利用することができ、また、相乗りによるドアツードアの移動というバスとタクシーの中間のサービスを提供することできます。
・現在、三大ニュータウンのひとつ愛知県春日井市高蔵寺ニュータウンにてサービスを提供しており、利用者の方からは好評を得ています。
・サービス内容は、ニュータウン内（半径２ｋｍ程度）であればどこへでも1日乗り放題で利用が可能です。同時に相乗りによる利用となります。
・通院・買い物・名古屋等への外出（ＪＲ駅）・銀行・美容院等様々な用途にて利用していただいています。
・法的な位置づけは、経産省グレーゾーン解消制度を通じて国交大臣書面にて確認しています。

http://sharechauffeur.com

B-03 TOA㈱

「音」で繋がる『笑顔あふれるまちづくり』

● TOAの特長
・TOAは公共空間に於いてそのシーンに相応しい案内や注意喚起、BGM等の「音」を提供してきました。これまでは施設毎にスタンドアロンの放送設備を提供してきましたが、昨今のICTの進化に合わせMaaSや人流・気象情報等と連携することにより高い精度で、必要な時に、必要な人へ、必要な「音」をお届け出来ると考えています

● 具体的なソリューション
・阪神淡路大震災後いち早く「次世代型防災用スピーカー」を開発し、その遠達性・明瞭性を評価いただき300超の市町村様にご採用を頂きました。現在は神戸市様のBe Smart KOBEではAI搭載カメラで混雑状況を感知し、自動音声案内により混雑状況を緩和させるWithコロナ社会を見据えた取組みに挑戦しています

● TOAが目指すまちづくり
・各企業様が保有する技術や情報と弊社の「音づくり」の技術を掛け合せ『笑顔あふれるまちづくり』に貢献して参ります

TOA Smiles for the Public

https://www.toa.co.jp/

B-04 ㈱ナイトレイ

スマートシティ構想におけるロケーションビッグデータを活用した都市・地域課題解決

■会社概要

■スマートシティの中での当社の支援のあり方

■スマートシティ関連での当社の支援事例
ー福岡市の箱崎エリアを中心とした持続的発展のためのまちづくり課題解決
ーその他、スマートシティ、MaaS関連

nightley

https://nightley.jp/

B-05 ㈱マクニカ

自動運転車両活用による移動支援と走行によって得られるデータ利活用ソリューション

① 自動運転技術を活用した移動支援（将来の交通課題に向けた課題解決）
- 弊社では幅広い車両タイプや自動運転の技術を地域課題や環境を考慮して組み合わせる事により最適なご提案ができればと存じます。

② 車両が走行する事で得られるデータの利活用
- ①で移動課題を解決するだけではなく、走行する事で得られるデータを活用した新たなサービス開発や現在人手を使って実施しているインフラ管理等への活用支援を提供致します。

https://www.macnica.co.jp/business/maas/

B-06 ㈱アルボル

AI活用型コミュニケーション・ロボを活用した観光ガイドについて

- 当社では、AI活用型コミュニケーション・ロボ「チャーピー」を販売しております。
- 「チャーピー」は、IoTプラットフォームによって支えられており、現在は、英会話学習用途で活用されております。
- このプラットフォームは、様々な業務に応用可能です。
- 今回の発表では、観光インフォメーション業務などに展開することをご提案申し上げます。

https://www.arbol-jp.com/

B-07 キヤノンマーケティングジャパン㈱

地域資源の魅力再構成と先端テクノロジーによるプロモーション

- 地域や街の魅力を確立し、発信していくことは、観光にとどまらず、エリアの活性化や、そこに暮らす人々の気持ちの豊かさを育む意味でも重要であることは言うまでもありません。
- しかしながら身近にあるがゆえに気づいていない魅力があったり、素晴らしい魅力があるにもかかわらず、手法や、内容にそぐわない表現方法でプロモーションしているケースも少なくはありません。
- キヤノンマーケティングジャパンは、①地域に根ざした歴史や文化などを競争力のある地域資源として再構成していくプロセスや、②地域資源を効果的にプロモーションしていくための方法、③XR、8K、空撮、ボリュメトリック撮影、マルチプロジェクションなど、新しいテクノロジーをどのように活用していけばよいか等を、事例を織り交ぜながら発表させていただきます。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

https://canon.jp/

B-08 ㈱JTB（観光予報プラットフォーム推進協議会）

ビックデータの有効活用による、EBPM（証拠に基づく事業・政策立案）と効率化、生産性の向上

■ 観光予報プラットフォーム（高度データ共有化プラットフォーム）
- 宿泊者属性・動向分析、6か月先の宿泊予測ができ、居住国、居住地、年齢層、宿泊単価、滞在日数、参加形態、食事条件、宿泊先等の把握分析に加えクロス分析が可能な観光予報プラットフォームと各地域で集積するデータを掛け合わせデータ間の相関を分析。
- 分析結果を基に、目的としたデータの近未来の需要を予測。
- 観光産業を基軸とした中小サービス事業者と地方公共団体・観光関連団体に、「最適なデータを提供」「データに裏づけられた確かな商品やサービスを開発・提供」「観光に関連する戦略の策定を支援」。

観光予報プラットフォーム

■ 観光予報DS（Data Science）
- IT環境があればどこでもデータ閲覧が行え、小・中・高・大とレベルに応じた活用ができる観光ビックデータアプリ。
- 宿泊に加え、気象、産業（RESAS）等から観光に資する様々な分野のデータを複合的に分析しながら地域の課題を見つけ、根拠に基づく解決案を提案できる。

観光予報DS DATA SCIENCE

https://kankouyohou.com/

B-09 ㈱unerry

スマートシティに向けた行動ビッグデータ活用最前線

■ unerryが持つ国内最大級のリアル行動ビッグデータ
・屋内外の行動をシームレスに把握できる技術、及び全国に展開されているセンサー・アプリネットワークにより日々膨大なデータが蓄積されています。

■ 行動ビッグデータのスマートシティへの活用事例
・観光地の回遊実態の把握→回遊促進
・IoTセンサーを活用した施設の来訪人数・混雑実態の把握→平準化
・エリア内の移動実態（移動手段・移動量）の把握→モビリティ最適化
など、様々な実態把握、施策検討に行動ビッグデータが活用されています。

■ データの更なる高度活用に向けて
・行動ビッグデータを活用した現状把握にとどまらず、企業のOMOマーケティングで培ったノウハウを活かした行動変容の創出（渋滞解消への取組みなど）やAIを活用した人流の予測などにも取り組んでいます。

https://www.unerry.co.jp/

B-10 朝日航洋㈱

3D都市モデル、IoT/ビッグデータを活用した防災減災・インフラモニタリング支援

<3D都市モデル(※)作成及び利活用サービス>

●国土交通省が推進するProject “PLATEAU(プラトー)”や静岡県のVIRTUAL SHIZUOKAへの関与実績をはじめ、本分野の知見を活かした都市空間の3D化による都市空間情報プラットフォームの作成やその利活用についてご紹介します。

・活用例：都市計画立案の高度化、防災減災シミュレーション、景観検討、ドローンや空飛ぶクルマの飛行ルートの検討、インフラ老朽化対策等

※スマートシティの実現に欠かせないデジタル基盤。実世界（フィジカル空間）の都市を仮想的な世界（サイバー空間）に再現した3次元の地理空間データ

<IoT/ビッグデータによる道路見守りサービス>

●地域を走行するコネクティッドカーからセンシングしたビッグデータを活用し、路面調査や道路環境調査等のコスト削減、効率化、省人化を図る技術をご紹介します。

・活用例：路面性状の把握、交通安全対策、渋滞対策、道路整備の効果測定、道路の通行状況や凍結、浸水検知等

https://www.aeroasahi.co.jp/

B-11 ㈱大林組

データプラットフォーム「SCIM」を核としたスマートサービスの提供

● 発表のポイントと流れ
・データプラットフォームによるエリアマネジメントを中心にスマートシティへの取組みをご紹介。
・取組みの経緯や考え方、導入実績事例、個別のスマートサービスの展開をご説明。

● データプラットフォーム「SCIM」と連携したソリューションサービス
・街区・施設（建物、地盤、インフラ）や利用者に関するあらゆる情報を3D-BIMモデルと連動する形で一元化・見える化するデジタルツインを核としたデータプラットフォームを構築。
・データプラットフォームを核に、リアルタイムで情報を収集・分析・発信することにより、計画から運用まで、まちのライフサイクルの各段階で様々な分野のソリューションサービスを実現。

https://www.obayashi.co.jp/

C-01 インテル㈱

DX推進に向けて、地域でのデジタル人材育成をお手伝いします

・地方自治体様や地域の関連団体様を対象に、デジタル・トランスフォーメーション(DX)を推進していく、データ分析からAI活用が可能なデジタル人材の育成をご支援いたします。
・当プログラムは準備編、理論編、実践編の3つの構成となっています。準備編では地域の特性、運営、課題、既存の状況を踏まえ、当プログラムのゴールとすべき社会課題の解決を議論します。
・理論編ではセミナー形式でAI入門やデータ分析入門を、座学とハンズオン形式で、それぞれ1-2日で行います。次に実践編として、ハッカソンで社会課題の解決を定義し、それを実現するシステム構築をインテルがファシリテートしながら行います。数週間から数か月の期間を想定しています。

・なお、当プログラムの参加者はITに関する基礎知識を有している方を対象とします。また当プログラムは無償でのご提供となりますが、参加者の使用機材等は実費での負担とさせていただきます。

www.intel.co.jp

C-02 PwCコンサルティング合同会社

都市を舞台にしたフィジカル・デジタルの連携による都市機能のスマート化

【目的】
・日本のまちを取り巻く環境は、人口構造の変化に加え、災害リスクへの対応、COVID-19などの有事対応、気候変動への対応など、対処すべき課題が複雑化しています。
・これらの課題は自治体また企業単独での対処は難しく、共創のもとに都市機能の維持・強化をしていく仕組みが求められています。
・共創のためにフィジカル(ex.協力体制)およびデジタル(ex.データ連携)の両面で連携できる仕組みを構築し、課題に対応していくことが都市機能の向上・スマート化に資すると考えています。
・また関係者から理解・協力を得て共創するためにも、共通指針としてのビジョンを描くことも必要です。
・本イベントでは共創による課題解決の仕組みの構築および都市機能のスマート化について発表いたします。

【発表予定のアジェンダ】
・持続可能なまちづくりに必要な要素
・市民・自治体・企業の共創を促す仕組みの構築方法
・共創が実現されることによる未来
・仕組み構築の論点

https://www.pwc.com/jp/ja/about-us/member/consulting.html

C-03 Vivasia S&C㈱

スマートタワー（Dicecell）の活用について

■ スマートタワー（Dicecell）の機能、特徴のご紹介
■ スマートシティでの活用
・5G/4G基地局の収納、デジタルサイネージ、カメラ、充電設備などスマートシティのサービススポットとしての活用をご提案します

Vivasia

https:///www.vivasia.org

C-04 ㈱福山コンサルタント

当社のスマートシティへの取り組みとソリューション

1.当社のスマートシティへの取り組み視点
・地域主体、持続可能性を見据えた体制構築、様々な企業の持つソリューションと地域資源の融合による地域課題解決方策の提案

2.当社の取組
・弊社におけるスマートシティの取り組み（発展・自立に向けた取り組み）（新潟市、守谷市における取り組み（自立支援、グリーンインフラ等））

3.スマートシティに関するソリューション（コロナ禍の克服に向けて）
・スマートシティに関する取り組みを支援する弊社のソリューションツールの紹介（ビッグデータ分析、歩行流動把握ツール、スマート・プランニング（歩行回遊シミュレーション）、地域団体との連携（PFI、グリーンインフラなど））

・ソリューションを活用した施策検討の紹介（街中の魅力向上・回遊向上を高めるグリーンインフラの取り組み（大丸有エリアのグリーンインフラ活用計画立案の実績など））

FUKUYAMA CONSULTANTS CO.,LTD.

https://www.fukuyamaconsul.co.jp/index.cfm

C-05 京セラコミュニケーションシステム㈱

自治体様・地域事業者様と取り組む「モビリティサービス」と「地域インフラ事業」のご紹介

・弊社が取り組む「自動配送ロボットの実証実験」、「バス自動運転実証」、「AIデマンドバスの実証実験」、「再エネデータセンターを核とした地域エネルギーシステム構築」、「地域ブロードバンドインフラの構築」についてご紹介させていただきます。

KYOCERA

京セラ コミュニケーションシステム

https://www.kccs.co.jp/

C-06 京セラ㈱

安心・安全な地域社会実現に貢献する京セラコネクティングサービス

・京セラは高耐久やシニア向け等の独自機能を搭載した通信端末を、企画・開発から製造、販売、アフターサービスまで国内での一貫体制で提供しており、そこで培った通信技術を応用することで地域社会の発展に貢献したいと考えております。

・今回はその具体的な製品・サービス事例として、

1.災害時・非常時にも「つながる」 MCAアドバンス無線機
2.子供や高齢者が地域社会と「つながる」 見守りIoTソリューション
3.インフラ維持管理や物流のDXに「つながる」 5Gコネクティングサービス

の3つについて発表いたします。

KYOCERA

https://www.kyocera.co.jp/

C-07 ㈱JX通信社

SNS緊急情報サービス「FATALERT」によるスマートAI防災の廉価な実現

・JX通信社はAIビッグデータ防災センサ「FASTALERT」を報道機関をはじめ、地方自治体、消防、警察にご提供しています。
・SNSや、自社運営のニュースアプリユーザー400万人からの投稿データをもとに、特定地域・特定分野の緊急情報を60秒で検知・配信し、昨今注目されるSNS防災を廉価に実現します。
・激甚化・局地化の進む昨今の事前災害やテロ等のリスクに、現地の詳細な映像取得を実現し、適切な初動計画を立案することが可能となります。

https://jxpress.net/

C-08 ㈱デンソー

地域の非常時と平常時の安心・安全を実現するデンソーの社会ソリューション

1.防災・行政情報配信システムを活用した安心・安全ソリューション
・非常時に防災情報を配信する地域の防災・行政情報配信システム。住民×行政をつなぐこのシステムを住民×○○で活用し、コロナ禍における遠隔での教育や医療相談、高齢者の見守り、密を避けた移動予約等の日常の安心・安全ソリューションへ応用します。

2.EV/PHVとV２H充放電器を活用したレジリエンス強化
・平常時にはEV/PHVの充放電を制御し再エネ活用につなげるV2H充放電器。非常時にはEV/PHVが電気を運び、停電の避難所へ給電し、エリアのレジリエンス強化につなげます。

3.UAVを活用した橋梁点検サービス
・橋梁点検に、デンソーが独自開発したUAV（ドローン）を活用。UAVで撮影した画像から損傷やひび割れを検出、解析し、損傷図までワンストップで提供。橋梁インフラの安心・安全の維持に貢献します。

DENSO
Crafting the Core

https://www.denso.com/jp/ja/

C-09 三井住友建設㈱

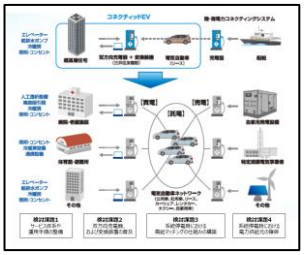
災害（地震）に強いスマートシティの実現

・災害（地震）に強い都市を実現するには、ハード、ソフトの両面から、発災前からの備えと発災後の対応が重要です。「公共施設等総合管理計画」に基づき、旧耐震施設を引き続き有効利用する場合、遵法性評価や耐震診断を行い、耐震性能向上の要否を評価します。特に事業継続計画において災害対策本部を設置する予定の市庁舎や避難所に指定されている学校施設等は優先的に必要な措置を実施します。

・発災後は建物構造安全性情報提供サービスにより、各施設の余震に対する安全性に関する情報を把握し、円滑な初動に活用します。陸・海電力コネクティングシステムを市庁舎や避難所、病院や福祉施設等での電力確保に利用し、二次災害の防止や追加の災害対策の発生を抑制します。地盤計測システムは土砂災害の予測を支援するデータを提供します。

・これらのシステムを自治体の都市OSと連携することにより、災害（地震）に強いスマートシティの実現を目指します。

三井住友建設



https://www.smcon.co.jp

C-10 エバタ㈱・秩父ケミカル㈱

「水循環」の改善技術で、スマートシティ実現への提案

1．保有する技術の紹介

① プラスチック製雨水貯留構造体
・雨水の流出抑制を目的とした地下埋設型の構造体で、貯留空間の割合が大きく軽量のため、施設のコンパクト化や人力施工が可能となり，経済的なメリットが向上します。

② 雨水利用技術（地上設置型と地中埋設型）
・溜めた雨水は、散水等への利用により上水の節水に貢献し、トイレの流し水としても活用できます。

2．スマートシティ実現に向けた課題解決イメージ

① 浸水リスクを軽減したスマートシティの実現に向けた上部利用の自由度向上
・駐車場の下にも設置可能な地下埋設技術で、有益な土地を創出できます。

② 気象予測データを活用した保雨装置の有効活用
・気象予測を感知し溜めた雨水を制御できれば、”治水”と”利水”の両方に対応した装置が構築できます。

③ 防災拠点における利用可能な水の確保
・プラスチック製雨水貯留構造体を避難場所等に設置することで、非常時の水の確保が期待できます。

（エバタ） https://www.ebata.co.jp/
（秩父ケミカル） https://www.titibu.co.jp/

C-11 ミネベアミツミ㈱

スマート道路照明とスマートシティソリューション

①無線機能を搭載したLED道路灯
②道路灯性能：省エネルギーの実現（消費電力・CO2排出の大幅な削減）
③維持管理の効率化
（無線で道路灯をコントロール、照明制御・不点灯監視など一元管理）
④道路灯のネットワークに各種センサーを繋げ、防災情報などを提供し、安全性の向上

https://www.minebeamitsumi.com/

オンラインマッチングイベント
発表団体のご紹介

タイムテーブル 【ニーズ・シーズ発表】

■2021年３月２日（火）に、ニーズ・シーズの発表を行います。
■各団体15分程度のニーズ・シーズ発表を行い、その後５分程度の質疑応答の時間を設けます。（計20分）
■各団体の発表時間帯は以下の通りです。（時間が前後する場合があります）

ニーズ発表　シーズ発表

		Channel-A	Channel-B	Channel-C
10	10:00 -10:20	【A-01】大阪府 『大阪府内の市町村が抱える移動課題と、スマートモビリティについて』	【B-01】アイシン精機㈱ 『オンデマンド交通「チョイソコ」のご紹介』	【C-01】インテル㈱ 『DX推進に向けて、地域でのデジタル人材育成をお手伝いします』
	10:25 -10:45	【A-02】加古川市 『加古川市における安全安心の取り組みについて』	【B-02】㈱シェアショーファー 『新しい日常の「お出掛け」サービス』	【C-02】PwCコンサルティング合同会社 『都市を舞台にしたフィジカル・デジタルの連携による都市機能のスマート化』
	10:50 -11:10	【A-03】福島産業創生協議会 『復興FUKUSHIMAスマートシティ・プロジェクト』	【B-03】TOA㈱ 『「音」で繋がる『笑顔あふれるまちづくり』』	【C-03】Vivasia S&C㈱ 『スマートタワー（Dicecell）の活用について』
11	11:15 -11:35	【A-04】横須賀市 『ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジのご紹介』	【B-04】㈱ナイトレイ 『スマートシティ構想におけるロケーションビッグデータを活用した都市・地域課題解決』	【C-04】㈱福山コンサルタント 『当社のスマートシティへの取り組みとソリューション』
	11:40 -12:00	【A-05】さいたま市 『都市OSとしての共通プラットフォームさいたま版の活用』	【B-05】㈱マクニカ 『自動運転車両活用による移動支援と走行によって得られるデータ利活用ソリューション』	【C-05】京セラコミュニケーションシステム㈱ 『自治体様・地域事業者様と取り組む「モビリティサービス」と「地域インフラ事業」のご紹介』
12				
13	13:00 -13:20	【A-06】㈱竹中工務店 『サステナブルなスマートコミュニティ・スマートシティへ技術と総合力で貢献します』	【B-06】㈱アルボル 『AI活用型コミュニケーション・ロボを活用した観光ガイドについて』	【C-06】京セラ㈱ 『安心・安全な地域社会実現に貢献する京セラコネクティングサービス』
	13:25 -13:45	【A-07】ABB日本ベーレー㈱ 『スマートシティにおけるエネルギーの最適化』	【B-07】キヤノンマーケティングジャパン㈱ 『地域資源の魅力再構成と先端テクノロジーによるプロモーション』	【C-07】㈱JX通信社 『SNS緊急情報サービス「FATALERT」によるスマートAI防災の廉価な実現』
	13:50 -14:10	【A-08】清水建設㈱ LCV事業本部 『清水建設による地域の再生可能エネルギーを活用した防災・減災力強化事業』	【B-08】㈱JTB（観光予報プラットフォーム推進協議会） 『ビックデータの有効活用によるEBPM(証拠に基づく事業・政策立案)と効率化、生産性の向上』	【C-08】㈱デンソー 『地域の非常時と平常時の安心・安全を実現するデンソーの社会ソリューション』
14	14:15 -14:35	【A-09】みやまパワーHD㈱ 『ゼロカーボンシティ実現に向けた「地域内環境価値の取引」や「地域通貨への応用」』	【B-09】㈱unerry 『スマートシティに向けた行動ビッグデータ活用最前線』	【C-09】三井住友建設㈱ 『災害（地震）に強いスマートシティの実現』
	14:50 -15:10	【A-10】㈱アウトソーシングテクノロジー 『地方創生へ向けた取り組みと課題解決』	【B-10】朝日航洋㈱ 『3D都市モデル、IoT/ビッグデータを活用した防災減災・インフラモニタリング支援』	【C-10】エバタ㈱、秩父ケミカル㈱ 『「水循環」の改善技術で、スマートシティ実現への提案』
15	15:15 -15:35	【A-11】㈱フジタ 『フジタにおけるスマートシティの取組』	【B-11】㈱大林組 『データプラットフォーム「SCIM」を核としたスマートサービスの提供』	【C-11】ミネベアミツミ㈱ 『スマート道路照明とスマートシティソリューション』
	15:40 -16:00	【A-12】㈱ラック 『スマートシティ/スーパーシティ向けセキュリティサービス構想 "town"』		

発表団体のご紹介

ニーズ

大阪府（おおさかふ）

発表時間		【A-01】 10：00～10：20				
団体情報	所在地	大阪府	団体種別	地方公共団体	所属業界	その他
	取組分野	■ 交通モビリティ ■ 観光・地域活性化 □ セキュリティ □ エネルギー ■ 健康・医療 □ 物流 □ 防災 □ 農林水産業 □ 都市計画・整備 □ インフラ維持管理 □ 環境 □ その他				
	団体概要	■ 役割 ・AI・IoT等の活用による府民のQoL向上や、行政の情報化、国家戦略特別区域等に関する事務を担う。 ■ 大阪スマートシティ戦略について ・2025年大阪・関西万博に向け、大胆な規制緩和等による最先端の取組と、府域全体で住民に利便性を実感してもらえる取組を両輪として、大阪モデルのスマートシティの基盤を確立し、e-OSAKA（先端技術を活用することで住民が笑顔になる大阪）を実現するための戦略を令和２年３月に策定。 ■ 取組 ・企業やシビックテック、府内市町村、大学等と連携し、地域・社会課題を解決していく「公民共同エコシステム」として「大阪スマートシティパートナーズフォーラム」を令和２年８月に設立。（現在330超の企業・団体が参画） ・「スマートヘルスシティ」「高齢者にやさしいまちづくり」「子育てしやすいまちづくり」「移動がスムーズなまちづくり」「インバウンド・観光の再生」「大阪ものづくり2.0」の６分野16プロジェクトを推進中。 大阪府				
	ホームページ	http://www.pref.osaka.lg.jp/it-suishin/sc/index.html				
発表	発表タイトル	大阪府内の市町村が抱える移動課題と、スマートモビリティについて				
	発表概要	■ 大阪府の取組み ・大阪スマートシティ戦略の方向性について 令和２年３月に策定した「大阪スマートシティ戦略Ver.1.0」の3つの基本姿勢の紹介や、府域での展開イメージ、スマートモビリティに関する内容など ・大阪スマートシティパートナーズフォーラム（OSPF）について OSPFの枠組みの紹介や、現在進行中のプロジェクトに関する内容など ■ 大阪府内市町村のモビリティ分野における課題など ・大阪府内市町村が抱える移動課題とニーズについて 大阪府内の市町村が抱える移動を中心とした課題の類型や、これまでにわかってきた課題など ・大阪府内での先行事例について モビリティ分野における先行事例など ・具体的な市町村の移動課題の例について 岸和田市などを題材として具体例を紹介：まちづくりにおける拠点整備に伴い、企業の皆様等に期待する取組み　等				
面談希望内容		■ 面談希望相手 ・大阪府内で、市町村が抱える移動課題の解決に向け、実証実験に留まらず、社会実装を目指していただける企業の皆様 ・大阪スマートシティパートナーズフォーラムに興味のある企業の皆様 ・大阪府内でのAIオンデマンド交通の導入について具体的な検討をしていただける大阪府内の事業者の皆様（特に交通事業者様） ・大阪府内にて横展開できるスマートモビリティ事業モデルをお持ちの皆様　等				

発表団体のご紹介

ニーズ

加古川市（かこがわし）

発表時間		【A-02】 10：25～10：45				
団体情報	所在地	兵庫県	団体種別	地方公共団体	所属業界	サービス
	取組分野	□ 交通モビリティ □ 観光・地域活性化 ■ セキュリティ □ エネルギー ■ 健康・医療 □ 物流 ■ 防災 □ 農林水産業 ■ 都市計画・整備 □ インフラ維持管理 □ 環境 □ その他				
	団体概要	・兵庫県加古川市は、兵庫県下最大の一級河川「加古川」が市の中央部を流れる水と緑に恵まれた自然と歴史にあふれる人口約26万人の都市です。 ・海岸線には、播磨臨海工業地帯の一翼を担っているわが国有数の鉄鋼工場があり、内陸部には伝統を生かした靴下、建具など特色のある地場産業が営まれています。 ・また、国宝などを多数所蔵する鶴林寺をはじめとする神社仏閣や見事な眺望と自然が満喫できる高御位山など、加古川の清流と豊かな緑を擁した文化遺産の多いまちです。 加古川市 KAKOGAWA CITY				
	ホームページ	https://city.kakogawa.lg.jp				
発表	発表タイトル	加古川市における安全安心の取り組みについて				
	発表概要	・平成30年度より運用している見守りカメラ1,475台のリプレースについて ・BLEタグ検知器のさらなる活用 ・３Ｄ都市モデルを活用したまちづくり ・地域BWAネットワークを活用したまちづくり				
面談希望内容		＜人流、交通量のセンシング＞ ・加古川駅周辺の活性化にあたって、歩行者天国などを検討しており、現在の通行量を簡易なセンサーを整備したいと考えています。 ＜見守りカメラのリプレース＞ ・現在設置している見守りカメラのリプレースを検討するにあたって、現在の技術動向について情報提供をお願いします。 ＜BLEタグ検知器の活用＞ ・見守りカメラの中に同梱しているBLEタグ検知器のさらなる活用について情報提供をお願いします。 ＜３Ｄ都市モデルの活用＞ ・都市局様の「３Ｄ都市モデル構築対象都市」となっており、翌年度以降の利活用について情報提供をお願いします。				

発表団体のご紹介

ニーズ

福島産業創生協議会（ふくしまさんぎょうそうせいきょうぎかい）

発表時間		【A-03】 10：50～11：10				
団体情報	所在地	福島県	団体種別	その他	所属業界	その他
	取組分野	■ 交通モビリティ ■ 観光・地域活性化 ■ セキュリティ ■ エネルギー ■ 健康・医療 ■ 物流 ■ 防災 ■ 農林水産業 ■ 都市計画・整備 ■ インフラ維持管理 ■ 環境 ■ その他				
	団体概要	・震災直後から被災地の産業創生をテーマに産学官有識者ネットワーク構築活動を行う。「福島の復興は新たな産業創生から」を活動テーマに、『福島の復興を考える会』（参加企業団体300社以上、参加人数延べ2000名以上）にて、WS30回、チェルノブイリ、東京電力福島第一原子力発電所、会津スマートシティAictなどの視察企画。当初、放射能対策に係る産業創生活動を行ってきたが、4年ほど前からICTを中心とした復興産業の手法を模索。 ・その後、テーマを「スマートシティ構想」に方向を定め、「会津スマートシティ構想」との連携を計り、内閣府「スーパーシティ構想」を目標として活動を進める中、平成30年3月、「福島の復興を考える会」の組織体制強化を目的に『福島産業創生協議会』を発足、「スマートシティ官民連携プラットフォーム」にオブザーバーとして加わる。2021年1月現在【会員】11社【参与会員】4名、【地方自治体との協定】被災地自治体との連携を推進中。 				
	ホームページ	https://ficc-2019.localinfo.jp/				
発表	発表タイトル	復興FUKUSHIMAスマートシティ・プロジェクト				
	発表概要	1）プロジェクト概要と福島産業創生協議会の説明 2）震災と原発事故当時から現状に至る説明 3）現状の課題と過去10年の被災地における様々な事業紹介 4）新たなプロジェクト紹介 1．広域連携型の先端的なコネクティッド・ライフ環境プラットフォームの構築 2．エネルギー・データ・交通インフラ等の地産地消システム 3．FUKUSHIMA被災地　林業再生PLAN 4．エッセンシャルワーカーによる医療・介護・見守り・物流配送等の社会補完サービスシステムの開発 5）「復興FUKUSHIMAスマートシティ・プロジェクト」全体像				
面談希望内容		・FUKUSHIMAの被災地は、震災後10年を経て復旧から復興の新たなフェーズに入っている。イノベーションコースト構想や原発廃炉等の巨大プロジェクトと共に広大な原野に変わった『グリーンフィールド』における産業創生が求められている。 ・この現況は日本の地方の将来像であり、新たな産業創生による復興は世界に向けて発信できる「スマートシティ/スーパーシティ」の実践場として実験・実装が可能であると捉え、今回FUKUSHIMAの被災地で「復興FUKUSHIMAスマートシティ・プロジェクト」に参加いただける連携企業を求めるものである。				

発表団体のご紹介

ニーズ

横須賀市（よこすかし）

発表時間		【A-04】 11：15～11：35				
団体情報	所在地	神奈川県	団体種別	地方公共団体	所属業界	その他
	取組分野	■ 交通モビリティ ■ 観光・地域活性化 □ セキュリティ □ エネルギー □ 健康・医療 ■ 物流 □ 防災 □ 農林水産業 □ 都市計画・整備 ■ インフラ維持管理 □ 環境 □ その他				
	団体概要	・横須賀市では、YRP研究開発推進協会及び（株）横須賀テレコムリサーチパークとともに、横須賀をフィールドとして、スマートモビリティの開発・実証の推進及び関連産業・周辺産業の集積を図ることで、新規ビジネス創出や社会的課題解決へのチャレンジを目指す「ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ（以下、スカモビ）」を推進しています。 ・スカモビは、学識経験者や関連企業・団体からなる、スカモビ推進協議会など、強力な推進体制を構築しており、2019年1月24日に発表した「横須賀スマートモビリティ宣言」に基づき、今年度は11件の実証実験プロジェクトに対し地元調整や、市有施設の貸与を中心とした支援を行い、プロジェクト実施者からも支援内容について高い評価を得ています。 ・今後もプロジェクトの実装・展開へチャレンジし、横須賀から先端事例・新規事業を創出し、日本・世界に展開していくことを目指します。				
	ホームページ	https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/index.html				
発表	発表タイトル	ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジのご紹介				
	発表概要	1．横須賀市が抱える社会的課題 ・人口約40万人の中核市である横須賀市が抱える課題についてお話しします。 2．ヨコスカ×スマートモビリティチャレンジについて ・なぜ、横須賀市が「ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ」を開始したのか、強力な推進体制、スカモビのビジョンである「横須賀スマートモビリティ宣言」、宣言に基づく支援パッケージなどをご紹介します。 3．スカモビ支援プロジェクトについて ・2019年度、2020年度に実施または進行中の主なプロジェクトについてご紹介します。特に、全国初の要素を持ったプロジェクトや、横須賀市がプロジェクト実施者に対して行った支援内容なども併せてご説明します。 4．スカモビ・チャレンジネットワークのご紹介 ・スカモビの活動をより広く展開していくため、ニーズオリエンテッドな新規実証プロジェクトの創出、企業等とのネットワーキングを目的とした連携の枠組みをご紹介します。				
面談希望内容		・スカモビが考える「スマートモビリティ」とは、単なる乗り物にとどまらず、我々が社会生活を営むために不可欠なヒト・モノ・サービスの移動をスマートにすることを意味します。 ・したがって、モビリティ(移動性)をスマートにデザインすることはすなわち、私たちの生活を、ひいては私たちの住むまちをスマートにデザインすることにつながると考えています。 ・スカモビが考える「スマートモビリティ」の理念に共感し、新規ビジネス創出や社会的課題解決へのチャレンジ、 これらの実装・展開へチャレンジしたいと考え、実証実験のフィールドを探している企業・団体・学校などにご注目いただければと考えています。				

さいたま市（さいたまし）

発表時間		【A-05】 11：40～12：00				
団体情報	所在地	埼玉県	団体種別	地方公共団体	所属業界	その他
	取組分野	■ 交通モビリティ ■ 観光・地域活性化 □ セキュリティ ■ エネルギー ■ 健康・医療 □ 物流 □ 防災 □ 農林水産業 □ 都市計画・整備 □ インフラ維持管理 □ 環境 ■ その他				
	団体概要	・さいたま市では、美園地区で、公民＋学の連携によりスマートシティの推進に取組んでおります。 ・浦和美園が本当に住みやすい街大賞2021 第10位にランキング（※１）、さいたま市が全国市区・SDGs先進度調査では第1位にランキング（※２）、等、取組の評価をいただいております。 （※１）アルヒ株式会社調べ （※２）日本経済新聞社調べ さいたま市				
	ホームページ	https://www.city.saitama.jp				
発表	発表タイトル	都市OSとしての共通プラットフォームさいたま版の活用				
	発表概要	・さいたま市では、美園地区で美園タウンマネジメント協会を設立し、43の大学・民間企業等、公民＋学の連携によりスマートシティの推進に取組んでおります。 ・スマートシティの対象分野は市民生活を構成するあらゆる分野としていますが、特にデータビジネスに注力しており、平成29年度に情報共通基盤である「共通プラットフォームさいたま版」を構築し、ヘルスケアやスポーツ分野等でデータの利活用を行う実証事業を行ってきた実績を有し、モビリティ分野のデータ利活用にも取り組んでまいります。 ・令和3年度は「共通プラットフォームさいたま版」をスマートシティ・リファレンスアーキテクチャに基づき改修することで、都市OSとして、多くの自治体さまとの共同利用を考えております。 ・弊市が有するノウハウや、これまでの取組概要、今後の展開方針について、お話しさせていただきたく存じます。				
面談希望内容		（発表のみ）				

㈱竹中工務店（たけなかこうむてん）

発表時間		【A-06】 13：00～13：20				
団体情報	所在地	東京都	団体種別	民間企業	所属業界	建設
	取組分野	□ 交通モビリティ ■ 観光・地域活性化 ■ セキュリティ ■ エネルギー ■ 健康・医療 □ 物流 ■ 防災 □ 農林水産業 ■ 都市計画・整備 ■ インフラ維持管理 ■ 環境 □ その他				
	団体概要	・私たちは「最良の作品を世に遺し、社会に貢献する」という経営理念のもと、創立以来、お客様の期待に応える建築を提供してきました。 ・企業が社会において担うべき役割は、時代とともに変化しています。世界がいま直面する、気候変動や人口増加をはじめとする地球規模の幾多の課題についても、その解決に貢献することが企業に求められています。私たちは時代の変化にいつも敏感でありたいと考えています。そのために絶えず人々との対話を重ね、技術の研鑽を続けることで、時代が求める ・最良のソリューションを提供していきます。そして人々が安全に安心して暮らすための「まちづくり」にグループの総力で貢献することによって、サステナブル社会を実現し、地球の未来につないでいきたいと思います。 想いをかたちに 未来へつなぐ TAKENAKA				
	ホームページ	https://www.takenaka.co.jp/				
発表	発表タイトル	サステナブルなスマートコミュニティ・スマートシティへ技術と総合力で貢献します				
	発表概要	・社会課題を解決し、新たな社会システムを構築するスマートシティは世界的潮流です。 ・竹中は、スマートシティを人を中心に建物やサービス・ビジネスをつなげるスマートコミュニティと捉え、まちの課題に対するソリューションと総合力で、新たな価値を生み出し、「活力魅力」「環境共生」「安全安心」をもたらす、サステナブル社会の実現に貢献します。 ・先行して実施している建物のスマート化技術を街区に展開し、エネルギーやセンサー情報、人の流れなどを統合集約して、そこから産み出される新たな価値をご提供します。				
面談希望内容		・当社のシーズ技術に興味を持っていただける自治体様を希望いたします。				

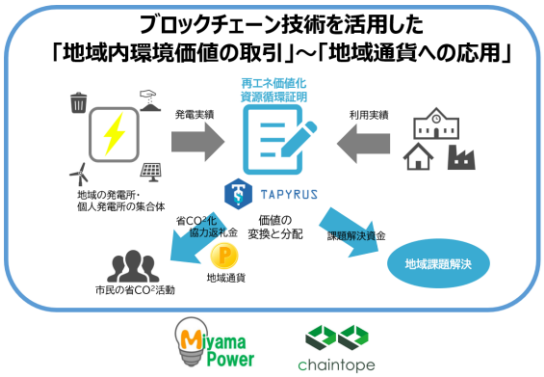
ABB日本ベーレー㈱（えーびーびーにほんべーれー）

発表時間		【A-07】 13：25～13：45				
団体情報	所在地	静岡県	団体種別	民間企業	所属業界	製造
	取組分野	□ 交通モビリティ □ 観光・地域活性化 □ セキュリティ ■ エネルギー □ 健康・医療 □ 物流 □ 防災 □ 農林水産業 □ 都市計画・整備 □ インフラ維持管理 □ 環境 ■ その他				
	団体概要	・計装制御システムとその関連機器を総合的に扱うトータルサプライヤであるABB日本ベーレー株式会社は、火力発電、LNG貯蔵基地などの各種エネルギー産業プラントを主とした国内基幹産業に製品やサービスを提供しています。 ・デジタル分野においては、産業の壁を越えて統一されたABB のデジタルプラットフォーム、アプリケーション "ABB Ability™" を基盤にデバイスからエッジ、クラウドに至るエンドツーエンドをサポートし、各産業向けに210 超のソリューションを展開しています。 ・エネルギー産業における長年の経験をもとに、お客さまのオペレーションの自動化や最適化、設備のライフサイクル価値の向上などの課題を解決するための、セキュアで統合されたデジタルソリューションやサービスを提供します。				
	ホームページ	www.bailey.co.jp				
発表	発表タイトル	スマートシティにおけるエネルギーの最適化				
	発表概要	・最適化演算エンジに：ABB Ability™ OPTIMAX® ・再生可能エネルギーを含むエネルギー最適化はスマートシティ構築において必要不可欠と考えます。 ・OPTIMAX®は太陽光発電、蓄電池、EV、発電設備、域内の負荷等、複数種類のリソースを束ね、自家消費率の最大化、売電量の増大、CO2最小化等を定めた目的を目指し最適化演算、制御指令を送信します。 ・接続可能な設備の多様性、スモールスタートが可能な拡張性を備えたシステムの概要及び適用事例を交えてご紹介します。				
面談希望内容		● マッチング想定 ・地域新電力、電力会社、自治体、EMSソリューションを組み込むSIer ● PR ・自治体単位、特定エリアでのエネルギーマネジメントシステムの提供が可能です。システムは実証初期の小規模リソースの接続から街全体のエネルギーの最適化まで、さまざまな大きさでの接続が可能です。近年、国内実証での実績も積んで参りました。構築規模問わず、御相談ください。				

清水建設㈱ LCV事業本部（しみずけんせつ えるしーぶいじぎょうほんぶ）

発表時間		【A-08】 13：50～14：10				
団体情報	所在地	東京都	団体種別	民間企業	所属業界	建設
	取組分野	□ 交通モビリティ □ 観光・地域活性化 □ セキュリティ ■ エネルギー ■ 健康・医療 □ 物流 ■ 防災 □ 農林水産業 ■ 都市計画・整備 ■ インフラ維持管理 ■ 環境 □ その他				
	団体概要	・清水建設は210余年以上にわたり建設請負事業を本業として日本のまちづくりに携わってきました。現在、次の時代を見据え、新たな収益の柱となる新しい事業領域の確立にチャレンジも開始しています。 ・その一つ、未来の次世代まちづくりとして、スマートシティの推進に積極的に取り組んでいます。清水建設では、2019年度の国土交通省スマートシティ先行モデル事業に選定された豊洲スマートシティ等において、地域の社会課題を解決するともに地域への新たな価値の提供を目指して事業化を進めています。 ・また、地域の持続可能な発展を推進するSDGｓの推進にも積極的に取り組んでいます。弊社は全都道府県に事業活動営業拠点を備えており、多面的な事業活動の展開に対応しています。 SHIMIZU CORPORATION 清水建設 ｜ SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 清水建設は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。 https://www.shimz.co.jp/company/about/strategy/				
	ホームページ	https://www.shimz.co.jp/				
発表	発表タイトル	清水建設による地域の再生可能エネルギーを活用した防災・減災力強化事業				
	発表概要	・近年、地球温暖化による自然災害の激甚化や大規模な地震などにより、地域社会の社会経済活動および日々の生活の維持や、企業の継続的な事業活動に大きなリスクとなってきています。地域の人々の日常生活や経済活動の持続可能性を確保することが重要です。 ・清水建設は、地域の固有資源を活用した再生可能ネルギーを導入することで平時は再生可能エネルギーとして利用しながら、災害時には独立した自立エネルギーとして利用可能な防災・減災力強化事業に取り組んでいます。 ・エネルギーの地産地消など多面的な要素で地域の持続可能性を高めます。 是非ご相談ください。				
面談希望内容		【マッチング相手の想定】 ・自治体の地域固有資産を活用した再生可能ネルギー導入をニーズにお持ちの、自治体や自治体に準ずる団体とのマッチングを希望します。 【PR】 ・現在、複数の自治体様と具体的な事業の実施に向けた実務協議を進めています。 ・自治体様の実状に合わせ、地域が保有する固有資産を活用した自立的なエネルギーの導入を支援します。				

みやまパワーHD㈱（みやまぱわーほーるでぃんぐす）

発表時間	【A-09】 14：15～14：35					
団体情報	所在地	福岡県	団体種別	民間企業	所属業界	サービス
	取組分野	■ 交通モビリティ ■ 観光・地域活性化 ■ セキュリティ ■ エネルギー ■ 健康・医療 □ 物流 ■ 防災 □ 農林水産業 □ 都市計画・整備 □ インフラ維持管理 ■ 環境 ■ その他				
	団体概要	・弊社は、「電力を通じた地域コミュニティの創造を支援する」ことをミッションとして掲げ、地域課題解決のための自立・分散型エネルギープラットフォームに関するコンサルティングおよび業務受託や地域電力会社の設立運営による地域課題解決の資金づくり支援により、地域一体となった持続可能な地域づくりをサポートしております。 ※下記ブロックチェーン「Tapyrus(タピルス)」は株式会社Chaintope（「ブロックチェーンインテグレーターとして社会にブロックチェーンを実装する」ことをミッションとして掲げるブロックチェーンテクノロジーカンパニー）が開発した独自パブリックブロックチェーンであり、弊社と協働して、持続可能な地域づくりの構築に取り組んでおります。  				
	ホームページ	https://www.miyama-phd.jp/				
発表	発表タイトル	ゼロカーボンシティ実現に向けた「地域内環境価値の取引」や「地域通貨への応用」				
	発表概要	●地域内電力の地産地消は、域内二酸化炭素排出量削減や自立・分散型エネルギーとしての災害時活用などから重要な視点です。また民間企業による再エネ発電所も域内に数多くありますがその電力が地域に有効に活用されていないケースもあります。地方自治体にとって、地域内のごみ発電や再生可能エネルギーを地域で循環していく取り組みが肝要といえる一方、真正性を確認できる環境価値の公開が難しいという課題がありました。私たちは独自のブロックチェーン技術を使い、環境価値の取引を電子証明化することにより、 ・地域の再エネや使っている電気がどこでどう作られたのかを知って取引することによる地域全体での環境への啓蒙 ・取引された環境価値をJ-クレジットなど市場に販売した対価を地域通貨として住民へ提供 の実現が可能と考えます。「資源循環」の証明の取組を足がかりとし、炭素・人・経済が循環する持続可能な循環共生型社会の構築を支援いたします。				
面談希望内容	●「地域の脱炭素化に取り組む地方自治体」様 ●「地域で持続可能な活動を自治体に伴走して行う事業者」様 ・私たちは先端技術（ブロックチェーン技術）を活用した環境活動だけでなく、社会・経済が調和した活動を行なっております。地域の持てる力で持続可能な循環共生型の暮らしを実現する、「まちづくりプラットフォーム」の構築を支援していきたいと考えております。そのプラットフォームから需要が生まれ産業が起き、経済活動が活発となる。さらに意志ある若者が増え、大人がしっかりと学び社会参加し、地域経済が循環する仕組みを築くことが重要だと考えます。環境×社会（教育・人づくり）×経済の調和がとれた地域活動の主体者を自治体様と共に育て伴走してまいります。					

㈱アウトソーシングテクノロジー（あうとそーしんぐてくのろじー）

発表時間		【A-10】 14：50～15：10				
団体情報	所在地	東京都	団体種別	民間企業	所属業界	サービス
	取組分野	■ 交通モビリティ ■ 観光・地域活性化 □ セキュリティ ■ エネルギー ■ 健康・医療 ■ 物流 ■ 防災 □ 農林水産業 □ 都市計画・整備 □ インフラ維持管理 □ 環境 □ その他				
	団体概要	・弊社は自動車産業を中心に機械・電気関連・ソフトウェア開発・ロボティクス等へ多種多様な業界での経験を活かしたMaaSへの技術的協力や、自動運転車両の開発や公道を使用した実走試験にも携わっております。 ・弊社としては取引企業常駐の派遣サービスも多いですが、様々な形で地方創生に向けた取り組みも進めております。 ・また、我々の取り組みのコアの部分として、AIやビッグデータ、IoTといった新技術の応用分野に対してアプローチを進めております。				
	ホームページ	https://www.ostechnology.co.jp/				
発表	発表タイトル	地方創生へ向けた取り組みと課題解決				
	発表概要	● 地方創生に向けた、技術的アプローチによる課題解決のご提案 ・具体例：藤枝市くらシェア（クラウドソーシング）導入・運営、宮崎県ボランティアネットワーク（みやボラン）の導入・運営、スマホ・タブレット端末等カメラが付いているデバイスであれば利用可能な遠隔医療（非接触バイタルセンシング）、各種モビリティの実証実験（西新宿等で実行されている自動運転車両の実路走行試験に伴う安全対策や、自動運転システムの評価を当社メンバーで行っています。） ● 人がやりにくい（やりたがらない）作業の代替提案。 ・具体例：ドローンを使用した山間部物流や災害時対応、水中のインフラ老朽化調査等の危険作業を人からドローンへのご提案。 ● 工場や倉庫のスマート化による人材不足の解消。				
面談希望内容		上記内容に関連して、 「こういうサービスと連携したらもっと良くなる」 「こういったことができないか？」 「こういったことしてみたいんだけどどうやったらいいの？」 という企業様とも会話していきたいです。				

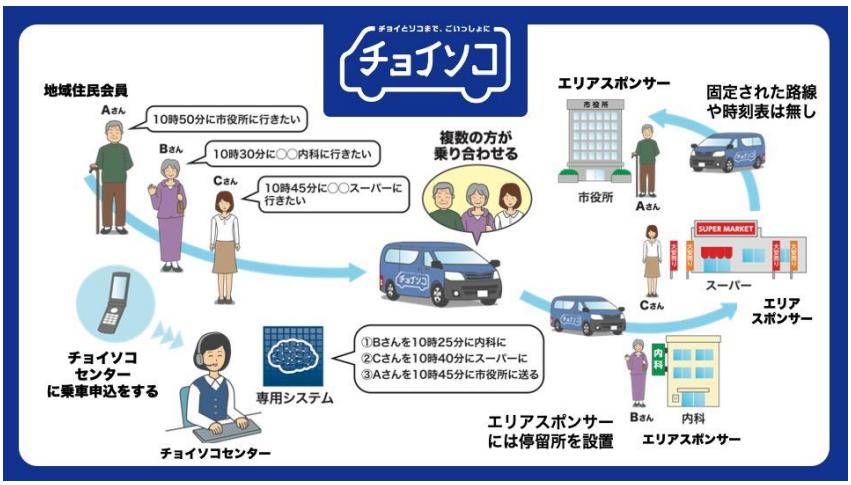
㈱フジタ（ふじた）

発表時間		【A-11】 15：15～15：35				
団体情報	所在地	東京都	団体種別	民間企業	所属業界	建設
	取組分野	□ 交通モビリティ □ 観光・地域活性化 ■ セキュリティ ■ エネルギー ■ 健康・医療 □ 物流 ■ 防災 □ 農林水産業 ■ 都市計画・整備 ■ インフラ維持管理 ■ 環境 □ その他				
	団体概要	・当社は建築事業、土木事業、都市再生事業、海外事業を中心とし社会の基盤づくりに取り組んでまいりました。長年の歴史の中で培った技術力やノウハウを生かし環境配慮にも取り組みながら国内外における土地活用から企画、建設、アフターケアまでお客さまのご要望に応えてまいります。 【会社概要】 会社名：株式会社フジタ 創業：1910年12月 資本金：140億円 従業員：3,299人（2020年12月1日現在） 主な事業内容： ・建設工事の請負、企画、設計、監理およびコンサルティング業務 ・宇宙開発、海洋開発、地域開発、都市開発、資源開発および環境整備等に関する調査、企画、設計、監理およびコンサルティング業務 ・土壌汚染の状況調査および除去等に関する業務 ・情報通信システムに係る企画開発および販売等に関する事業 ・マルチメディアの研究開発に関する事業 ・上記に付随する一切の事業				
	ホームページ	https://www.fujita.co.jp/				
発表	発表タイトル	フジタにおけるスマートシティの取組				
	発表概要	・フジタでは「安全安心」、「サスティナブル」、「健康」なまちづくりを目指して、スマートシティの取組を進めています。 【ウォークスルー顔認証&サーマルシステム】 ・新型コロナウイルス等の感染症予防対策として、「ビジネスと現場を止めない」ウォークスルー型の顔認証・体表温測定システムを開発。東大研究室発ベンチャーのOlloとの共同開発により、業界最高レベルの高精度な顔認証・体表温測定を立ち止まることなく、スピーディに行うことが出来ます。 【完全独立型バイオマス発電】 ・地域資源であるバイオマスを使った分散型エネルギーの取組を進めています。系統電力に寄らない完全独立型の電源を用いることで電源喪失時や離島でもエネルギー供給を可能とします。 【BIM活用による建物の効率的な維持管理】 ・建築のデジタルプロセスであるBIMを活用することで、環境情報、設備機器運転状況等の建物情報を見える化し、効率的な建物維持管理を可能とします。				
面談希望内容		・ご所属の団体、業界問わず、弊社の取組に少しでもご関心をお持ちいただけましたらお気軽にお声がけください。				

㈱ラック（らっく）

発表時間		【A-12】 15：40～16：00				
団体情報	所在地	東京都	団体種別	民間企業	所属業界	サービス
	取組分野	□ 交通モビリティ ■ 観光・地域活性化 ■ セキュリティ □ エネルギー ■ 健康・医療 □ 物流 ■ 防災 □ 農林水産業 ■ 都市計画・整備 ■ インフラ維持管理 □ 環境 ■ その他				
	団体概要	・情報技術分野でのコンサルティング、セキュリティ監視、緊急対応（サイバー119サービスなど）、情報漏洩調査、情報提供、教育訓練、システム構築、データベース構築支援などのサービスを提供。 商号：株式会社ラック（LAC Co., Ltd） 設立：2007年（創業1986年）。 本社：〒102-0093 東京都千代田区平河町2丁目16番1号 平河町森タワー 資本金：10億円 売上高：連結 404億円（2020年3月期） 従業員数：連結 2,270名（2020年4月1日現在） 上場市場：東京証券取引所JASDAQ（3857）				
	ホームページ	https://www.lac.co.jp/				
発表	発表タイトル	スマートシティ/スーパーシティ向けセキュリティサービス構想 "town"				
	発表概要	・スマートフォンやキャッシュレス決済などの普及によって人々の生活にも変化の波が押し寄せています。そして情報機器だけに限らず様々な住宅設備や電子機器がネットワークに接続されるIoTも普及が進んできました。 ・将来の地域社会においては、地域住民と行政、事業者のほぼすべてがインターネットに接続され、地域住民にむけた様々な行政、医療などの社会基盤サービスもネットワークによって利便性が向上するでしょう。 ・このようなスマートシティ/スーパーシティにおいては住民の安心、安全を守るセキュリティサービスが必要不可欠となります。 ・ラックでは、これまでセキュリティ事業やシステム開発事業で培った経験を活かし、スマート化された地域社会と住民を守るための、「街全体を見守る総合的なセキュリティ分析サービス（コードネーム：town）」を発表し、その実現に向けた新規事業開発を進めています。				
面談希望内容		1) IoTデバイス開発のスタートアップ企業 ・スマートシティ・スーパーシティ構想において、IoTデバイスの活用は欠かせません。しかし、有効に活用されるデバイスが、まだまだ不足しているのが現状と思います。弊社ではベンチャー投資事業と通じて、IoTデバイスのスタートアップ企業との共創を進めています。 （投資実績例：https://www.lac.co.jp/news/2020/10/28_press_01.html） 2) 各地域でのtown展開・運用に関する共創企業 ・弊社のtown構想はプラットフォームサービスとしての実現を目指しています。このプラットフォームサービスとの連携サービスや、各地域での展開・運用におけるパートナー企業様との共創構築も進めていきます。				

アイシン精機㈱（あいしんせいき）

発表時間		【B-01】 10：00～10：20				
団体情報	所在地	愛知県	団体種別	民間企業	所属業界	製造
	取組分野	■ 交通モビリティ ■ 観光・地域活性化 □ セキュリティ □ エネルギー □ 健康・医療 ■ 物流 □ 防災 □ 農林水産業 □ 都市計画・整備 □ インフラ維持管理 □ 環境 □ その他				
	団体概要	・トヨタグループに所属する自動車用部品メーカーです。アイシングループとしてパワートレイン、走行安全、車体、情報電子、エネルギー関連製品の製造・販売を行っております。  				
	ホームページ	www.choisoko.jp				
発表	発表タイトル	オンデマンド交通「チョイソコ」のご紹介				
	発表概要	「使いやすさと継続性を重視したオンデマンド交通サービス」 ・オンデマンドの乗り合い送迎サービス「チョイソコ」は2018年7月に愛知県豊明市でそのサービスを開始し、2021年1月時点で全国13の自治体様に拡がっています。 ・シンプルなプラットフォームを活かし、それぞれの自治体様のご要望に合わせたフレキシブルな運用をご提供。エリアスポンサーとしての地域企業様、交通業者様や異業種様との連携により継続性を重視した運営を展開しております。 ・MaaSの観点から路面検知システムなど移動する車両が得られるデータを自治体様に提供するオプションも準備しております。				
面談希望内容		希望する面談：「公共交通に課題を抱えておられる自治体様」 ・チョイソコは地域の交通不便を解消し、主に高齢者の外出促進に貢献するデマンド交通です。従来のデマンド型交通とは異なり、民間企業が事業主体となりエリアスポンサーによる協賛を得ることで採算性が向上するスキームを展開しております。 ・チョイソコは単なる運行のシステム提供に留まらず、高齢者の健康増進につながる外出促進の「コトづくり」を推進。システム立ち上げ後も継続なサポートをいたします。 ・住民の皆様の使いやすさにこだわり、予約はスマホのほか、熟練したオペレーターが電話でも承っております。 ・路面検知、大気汚染検知といったセンシングサービス、農作物輸送、児童送迎といった付加サービスもご検討いただくことが可能です。				

㈱シェアショーファー（しぇあしょーふぁー）

発表時間		【B-02】 10：25～10：45				
団体情報	所在地	愛知県	団体種別	民間企業	所属業界	サービス
	取組分野	■ 交通モビリティ □ 観光・地域活性化 □ セキュリティ □ エネルギー □ 健康・医療 □ 物流 □ 防災 □ 農林水産業 □ 都市計画・整備 □ インフラ維持管理 □ 環境 □ その他				
	団体概要	・高齢者の方々へ日常の「お出掛け」サービスを提供しています。 ・同一地域に居住する複数の利用者により車両と運転手をそれぞれシェアするモデルです。 ・これにより、自家用車を持たない方々も自家用車を利用することができ、また、相乗りによるドアツードアの移動とうバスとタクシーの中間のサービスを提供することで、好評を得ています。 ・法的な位置づけは、経産省グレーゾーン解消制度を通じて国交大臣書面にて確認しています。 				
	ホームページ	http://sharechauffeur.com				
発表	発表タイトル	新しい日常の「お出掛け」サービス				
	発表概要	・高齢者の方々へ日常の「お出掛け」サービスを提供しています。 ・同一地域に居住する複数の利用者により車両と運転手をそれぞれシェアするモデルです。 ・これにより、自家用車を持たない方々も自家用車を利用することができ、また、相乗りによるドアツードアの移動というバスとタクシーの中間のサービスを提供することできます。 ・現在、三大ニュータウンのひとつ愛知県春日井市高蔵寺ニュータウンにてサービスを提供しており、利用者の方からは好評を得ています。 ・サービス内容は、ニュータウン内（半径２ｋｍ程度）であればどこへでも1日乗り放題で利用が可能です。同時に相乗りによる利用となります。 ・通院・買い物・名古屋等への外出（ＪＲ駅）・銀行・美容院等様々な用途にて利用していただいています。 ・法的な位置づけは、経産省グレーゾーン解消制度を通じて国交大臣書面にて確認しています。				
面談希望内容		１.高齢者の移動問題をの解決を目指している自治体の方々。 ２.弊社提供の移動サービスをコアにした新しい街づくりを計画しています。 ・面談希望事業者は、都市開発事業者・通信関係事業者そして、見守りや通院サポートなど高齢者へサービスを提供している事業者の方々との面談を希望します。				

TOA㈱（てぃーおーえー）

発表時間		【B-03】 10：50～11：10				
団体情報	所在地	兵庫県	団体種別	民間企業	所属業界	製造
	取組分野	■ 交通モビリティ ■ 観光・地域活性化 ■ セキュリティ □ エネルギー □ 健康・医療 □ 物流 ■ 防災 □ 農林水産業 □ 都市計画・整備 □ インフラ維持管理 □ 環境 ■ その他				
	団体概要	・TOA株式会社は業務用・プロ用の音響機器と防犯・監視カメラなどセキュリティ機器を製造販売する、音と映像の専門メーカーです。1934（昭和9）年の創業以来、現在は国内外に拠点を配し、世界120ヵ国以上に商品を送り出しています。人々が「安心、信頼、感動」を感じたとき、そこに生まれるさまざまな笑顔。その笑顔を人々が集う「Public（社会）」で実現するのがTOAです。TOAは「音の報せる力」で人々がより幸福を感じられるかけがえのない価値を提供していきます。 企業価値 「Smiles for the Public ―人々が笑顔になれる社会をつくる―」 設立 1949 (昭和24)年4月20日 資本金 52億79百万円 代表者 代表取締役社長 竹内 一弘 TOA Smiles for the Public				
	ホームページ	https://www.toa.co.jp/				
発表	発表タイトル	「音」で繋がる『笑顔あふれるまちづくり』				
	発表概要	● TOAの特長 ・TOAは公共空間に於いてそのシーンに相応しい案内や注意喚起、BGM等の「音」を提供してきました。これまでは施設毎にスタンドアロンの放送設備を提供してきましたが、昨今のICTの進化に合わせMaaSや人流・気象情報等と連携することにより高い精度で、必要な時に、必要な人へ、必要な「音」をお届け出来ると考えています ● 具体的なソリューション ・阪神淡路大震災後いち早く「次世代型防災用スピーカー」を開発し、その遠達性・明瞭性を評価いただき300超の市町村様にご採用を頂きました。現在は神戸市様のBe Smart KOBEではAI搭載カメラで混雑状況を感知し、自動音声案内により混雑状況を緩和させるWithコロナ社会を見据えた取組みに挑戦しています ● TOAが目指すまちづくり ・各企業様が保有する技術や情報と弊社の「音づくり」の技術を掛け合せ『笑顔あふれるまちづくり』に貢献して参ります				
面談希望内容		● 想定分野 ・交通モビリティ／防災／観光・地域活性化／セキュリティ／その他（安心・快適で魅力的なまちづくり）を目的としている自治体様、協業頂ける企業様とのマッチングを希望します ● TOAの強み ・製品アイテム数は2500以上。技術・ソリューションはネットワークで統合された放送・通話・監視システムとそのエンジニアリングとなります。スピーカーの配置提案、周囲環境に応じた「音」を視覚化するシミュレーション技術もございます ● 自治体の皆さまへ ・平時有事の双方において、公共空間・施設の管理業務や利用者のスムーズな行動を支援し、スマートシティへの利活用を望まれる自治体様との共創を希望します ● 企業の皆さまへ ・ビッグデータをお持ちの企業様，通信インフラ系の企業様と連携し、TOAの強み＝「音づくり」の技術によって自治体様のニーズにお応えして参りたいと思います				

㈱ナイトレイ（ないとれい）

発表時間		【B-04】 11：15～11：35				
団体情報	所在地	東京都	団体種別	民間企業	所属業界	サービス
	取組分野	■ 交通モビリティ ■ 観光・地域活性化 □ セキュリティ □ エネルギー □ 健康・医療 □ 物流 ■ 防災 □ 農林水産業 ■ 都市計画・整備 □ インフラ維持管理 □ 環境 ■ その他				
	団体概要	・当社は、「ロケーションビッグデータとテクノロジーの可能性に挑戦し、世界中に驚きとイノベーションを届ける」というビジョンを掲げ、2011年に創業したスタートアップです。 ・独自開発で特許取得をしている「SNS等のロケーションデータ収集・解析技術」による旅行者・生活者の行動分析を当社の強みとしつつ、データパートナーとなる大手企業との業務提携により、レベニューシェアモデルの共同サービス開発にも力を入れており、特定データに依存しないデータ分析支援ソリューション提供が可能です。 ・直近の注力領域は、「インバウンド対策支援」「国内観光分析」「MaaS領域」「まちづくり領域」の4つで、ロケーションビッグデータと相性が良く支援実績の多い観光領域を中心としつつ、自動車メーカーや公共交通事業者と連携したMaaS推進支援や、大手ゼネコンや大手不動産事業者と連携した「データを活用した未来のまちづくり」を目指す取り組みにも力を入れています。 Nightley				
	ホームページ	https://nightley.jp/				
発表	発表タイトル	スマートシティ構想におけるロケーションビッグデータを活用した都市・地域課題解決				
	発表概要	■会社概要 ■スマートシティの中での当社の支援のあり方 ■スマートシティ関連での当社の支援事例 ー福岡市の箱崎エリアを中心とした持続的発展のためのまちづくり課題解決 ーその他、スマートシティ、MaaS関連				
面談希望内容		・移動・行動に関する課題をお持ちの団体様と、ロケーションビッグデータを活用した課題解決の観点で個別面談を希望します。 ■観光関連での課題を抱えている団体様（国内観光、インバウンド観光） ＜課題例＞ 観光行動の可視化／行動変容の促進／回遊性の向上／消費の拡大／観光施策の効果検証／その他データを活用した仕組み作り　等 ■交通関連での課題を抱えている団体様 ＜課題例＞ 公共交通利用促進／交通利便性の向上／イベントでの交通マネジメント／移動手段の可視化／その他データを活用した仕組み作り　等 ■その他、まちづくり ＜課題例＞ 避難対策／商圏分析／その他データを活用した仕組み作り　等 ・当社は調査会社では無く、データを活用して人々の行動を読み解くことで課題を解決する分析の会社ですので、関連しそうなテーマがあれば、お気軽にご相談頂ければ幸いです。				

㈱マクニカ（まくにか）

発表時間		【B-05】 11：40～12：00				
団体情報	所在地	神奈川県	団体種別	民間企業	所属業界	卸売・小売・飲食、その他
	取組分野	■ 交通モビリティ □ 観光・地域活性化 □ セキュリティ	□ エネルギー □ 健康・医療 ■ 物流	□ 防災 □ 農林水産業 □ 都市計画・整備	■ インフラ維持管理 □ 環境 □ その他	
	団体概要	・弊社は、1972 年の設立以来、最先端の半導体、電子デバイス、ネットワーク、サイバーセキュリティ商品に技術的付加価値を加えて提供してきました。 ・近年は、従来からの強みであるグローバルにおける最先端テクノロジーのソーシング力と技術企画力をベースに、AI/IoT、自動運転、ロボットなどの分野で新たなビジネスを展開しています。 ・今後は、「Co.Tomorrowing」をスローガンに、最先端のテクノロジーとマクニカが持つインテリジェンスをつなぎ、ユニークなサービス/ソリューションを提供する存在として、社会的価値を生み出し未来社会の発展へ貢献していきます。 ・当社は、横浜に本社を構え、世界24ヶ国84拠点をベースにグローバルなビジネスを展開しています。 MACNICA				
	ホームページ	https://www.macnica.co.jp/business/maas/				
発表	発表タイトル	自動運転車両活用による移動支援と走行によって得られるデータ利活用ソリューション				
	発表概要	① 自動運転技術を活用した移動支援（将来の交通課題に向けた課題解決） ・弊社では幅広い車両タイプや自動運転の技術を地域課題や環境を考慮して組み合わせる事により最適なご提案ができればと存じます。 ② 車両が走行する事で得られるデータの利活用 ・①で移動課題を解決するだけではなく、走行する事で得られるデータを活用した新たなサービス開発や現在人手を使って実施しているインフラ管理等への活用支援を提供致します。				
面談希望内容		■ 自治体様を中心として以下の事を考えられている方との面談希望です ・交通課題に対して将来自動運転技術を活用していきたい意向がある ・様々なサービスで得られるデータを利活用した街つくりの計画、または将来的な意向がある				

㈱アルボル（あるぼる）

発表時間		【B-06】 13：00～13：20				
団体情報	所在地	沖縄県	団体種別	民間企業	所属業界	サービス
	取組分野	□ 交通モビリティ ■ 観光・地域活性化 □ セキュリティ	□ エネルギー □ 健康・医療 □ 物流	□ 防災 □ 農林水産業 □ 都市計画・整備	□ インフラ維持管理 □ 環境 □ その他	
	団体概要	・当社は、IoTデバイス等と連携するクラウドサービスの企画・販売を行っております。 ・「英会話学習用IoTプラットフォーム」は製品化され、販売が行われております。 ・このプラットフォームを活用して、観光インフォメーション業務などに展開できれば幸いです。 ARBOL CO., LTD.				
	ホームページ	https://www.arbol-jp.com/				
発表	発表タイトル	AI活用型コミュニケーション・ロボを活用した観光ガイドについて				
	発表概要	・当社では、AI活用型コミュニケーション・ロボ「チャーピー」を販売しております。 ・「チャーピー」は、IoTプラットフォームによって支えられており、現在は、英会話学習用途で活用されております。 ・このプラットフォームは、様々な業務に応用可能です。 ・今回の発表では、観光インフォメーション業務などに展開することをご提案申し上げます。				
面談希望内容		・観光事業者支援団体様 ・宿泊事業者様 ぬいぐるみ型のコミュニケーション・ロボが、お客様をお出迎えしてくださいます！ 日式キャラクターで、外国人も親しみやすいです！				

キヤノンマーケティングジャパン㈱（きやのんまーけてぃんぐじゃぱん）

発表時間		【B-07】 13：25～13：45				
団体情報	所在地	東京都	団体種別	民間企業	所属業界	その他
	取組分野	□ 交通モビリティ ■ 観光・地域活性化 ■ セキュリティ □ エネルギー □ 健康・医療 □ 物流 ■ 防災 □ 農林水産業 □ 都市計画・整備 ■ インフラ維持管理 □ 環境 □ その他				
	団体概要	・当社グループは、キヤノンが長年蓄積してきた光学・画像処理などのイメージング技術やグループのR&D部門が持つ要素技術など、最先端の独自技術を持つことが強みです。 ・お客さまやパートナーとの共創により、お客さまの価値向上につながるDXを推進し、社会課題の解決やスマートシティの実現を目指します。 Canon キヤノンマーケティングジャパン株式会社				
	ホームページ	https://canon.jp/				
発表	発表タイトル	地域資源の魅力再構成と先端テクノロジーによるプロモーション				
	発表概要	・地域や街の魅力を確立し、発信していくことは、観光にとどまらず、エリアの活性化や、そこに暮らす人々の気持ちの豊かさを育む意味でも重要であることは言うまでもありません。 ・しかしながら身近にあるがゆえに気づいていない魅力があったり、素晴らしい魅力があるにもかかわらず、手法や、内容にそぐわない表現方法でプロモーションしているケースも少なくはありません。 ・キヤノンマーケティングジャパンは、①地域に根ざした歴史や文化などを競争力のある地域資源として再構成していくプロセスや、②地域資源を効果的にプロモーションしていくための方法、③XR、8K、空撮、ボリュメトリック撮影、マルチプロジェクションなど、新しいテクノロジーをどのように活用していけばよいか等を、事例を織り交ぜながら発表させていただきます。				
面談希望内容		［映像技術］×［I T］×［コンテンツ］で、地域の魅力を最大化します。 <このような課題にお応えします> ・地域の魅力を発信するための新しい仕組みを考えたい。 ・地域資源をどのように見出し、活用していけば良いか相談したい。 ・博物館やビジターセンターの展示を魅力的にしたい。 ・地域の魅力を伝えるための8K/4K高解像度映像を作りたい。 ・VR、AR、MRを使った展示やイベントを行いたい。 ・ミュージアムや劇場のデジタルツイン化を推進したい。 ・デジタルマーケティングを駆使して集客したい。				

㈱JTB（じぇいてぃーびー）（観光予報プラットフォーム推進協議会）

発表時間		【B-08】 13：50～14：10				
団体情報	所在地	東京都	団体種別	民間企業	所属業界	サービス
	取組分野	□ 交通モビリティ ■ 観光・地域活性化 □ セキュリティ □ エネルギー □ 健康・医療 □ 物流 □ 防災 □ 農林水産業 ■ 都市計画・整備 □ インフラ維持管理 □ 環境 ■ その他				
	団体概要	・株式会社JTB霞が関事業部は日本観光振興協会と観光予報プラットフォーム推進協議会事務局を運営しています。観光予報プラットフォームは「観光」に資するビックデータと需要予測のプラットフォームです。https://kankouyohou.com/ ・観光予報プラットフォームのデータは、RESAS、V-RESAS（https://v-resas.go.jp/）、観光予報DS（未来探究ゼミナール）（https://youtu.be/LY746or1NWg）等に活用いただき、自治体・DMOやサービス事業者の「政策（計画）策定と効果検証」、「消費の拡大や生産性向上、効率化」、「データ教育」に貢献しています。 観光予報プラットフォーム 観光予報DS DATA SCIENCE				
	ホームページ	https://kankouyohou.com/				
発表	発表タイトル	ビックデータの有効活用による、EBPM（証拠に基づく事業・政策立案）と効率化、生産性の向上				
	発表概要	■ 観光予報プラットフォーム（高度データ共有化プラットフォーム） ・宿泊者属性・動向分析、６か月先の宿泊予測ができ、居住国、居住地、年齢層、宿泊単価、滞在日数、参加形態、食事条件、宿泊先等の把握分析に加えクロス分析が可能な観光予報プラットフォームと各地域で集積するデータを掛け合わせデータ間の相関を分析。分析結果を基に、目的としたデータの近未来の需要を予測。観光産業を基軸とした中小サービス事業者と地方公共団体・観光関連団体に、「最適なデータを提供」「データに裏づけられた確かな商品やサービスを開発・提供」「観光に関連する戦略の策定を支援」。 ■ 観光予報DS（Data Science） ・IT環境があればどこでもデータ閲覧が行え、小・中・高・大とレベルに応じた活用ができる観光ビックデータアプリ。宿泊に加え、気象、産業（RESAS）等から観光に資する様々な分野のデータを複合的に分析しながら地域の課題を見つけ、根拠に基づく解決案を提案できる。				
面談希望内容		■ 観光予報プラットフォーム（高度データ共有化プラットフォーム） ・中央省庁、全国の自治体、DMO、観光協会 ・民間企業、観光関連事業者 ・学校法人（調査・研究） ■ 観光予報DS（未来探究ゼミナール） ・学校法人、教育委員会、全国の自治体、DMO				

㈱unerry（うねりー）

発表時間		【B-09】 14：15～14：35				
団体情報	所在地	東京都	団体種別	民間企業	所属業界	その他
	取組分野	■ 交通モビリティ ■ 観光・地域活性化 □ セキュリティ □ エネルギー □ 健康・医療 □ 物流 □ 防災 □ 農林水産業 ■ 都市計画・整備 □ インフラ維持管理 □ 環境 □ その他				
	団体概要	・株式会社unerryは日本最大級のリアル行動データプラットフォーム「Beacon Bank」を運営し、スマートシティの実現、及び企業のOMOマーケティング活動における課題を解決するデータカンパニーです。 ・累計1.1億DLの提携アプリ、全国210万個のBeaconとIoTセンサーから屋内外における人の動きを広範囲かつ立体的に捉え、独自AIで解析。エリア内人流分析データの提供やジオターゲティング広告、混雑可視化などニューノーマルに対応した集客・販促活動を支援しています。 ・また、データを社会に還元する取組みとして、全国約4.9万店舗近辺の混雑状況を推定し「密」を避ける行動をサポートする無料サイト「お買物混雑マップ」を提供。 ・unerryは、IoTとAIで現実世界を解析可能にすることで、リアル空間とデジタル空間を融合させ、"スマートな"環境が人を豊かにしてくれる社会の実現を目指しています。				
	ホームページ	https://www.unerry.co.jp/				
発表	発表タイトル	スマートシティに向けた行動ビッグデータ活用最前線				
	発表概要	■ unerryが持つ国内最大級のリアル行動ビッグデータ ・屋内外の行動をシームレスに把握できる技術、及び全国に展開されているセンサー・アプリネットワークにより日々膨大なデータが蓄積されています。 ■ 行動ビッグデータのスマートシティへの活用事例 ・観光地の回遊実態の把握→回遊促進 ・IoTセンサーを活用した施設の来訪人数・混雑実態の把握→平準化 ・エリア内の移動実態（移動手段・移動量）の把握→モビリティ最適化 など、様々な実態把握、施策検討に行動ビッグデータが活用されています。 ■ データの更なる高度活用に向けて ・行動ビッグデータを活用した現状把握にとどまらず、企業のOMOマーケティングで培ったノウハウを活かした行動変容の創出（渋滞解消への取組みなど）やAIを活用した人流の予測などにも取り組んでいます。				
面談希望内容		■ 観光による活性化をご検討されている地方公共団体の方 ・ノウハウが詰め込まれた観光スポット来訪者理解のための分析パッケージがありますので、クイックに理解を進め、様々な施策の検討に活用できます。（税別300万円～） ■ 施設の混雑把握・高精度な人数把握を検討されている地方公共団体の方 ・独自開発したIoTセンサー（特許取得済）により、カメラ等の高額機器の設置無しに施設の来訪人数・混雑状況を把握可能です。（カスタマイズ混雑マップとしてサービス提供中） ■ 地域の移動実態可視化・ニーズ把握を検討されている地方公共団体の方 ・行動ビッグデータから移動手段（車・電車・徒歩など）や行動圏を可視化することにより、公共交通の利用促進・渋滞解消など、様々な課題へのヒントが得られます。				

朝日航洋㈱（あさひこうよう）

発表時間		【B-10】 14：50～15：10				
団体情報	所在地	東京都	団体種別	民間企業	所属業界	運輸・通信
	取組分野	□ 交通モビリティ □ 観光・地域活性化 □ セキュリティ □ エネルギー □ 健康・医療 □ 物流 ■ 防災 □ 農林水産業 ■ 都市計画・整備 ■ インフラ維持管理 □ 環境 □ その他				
	団体概要	●航空事業、空間情報事業の2つの事業を通じ、救急や防災・減災、インフラメンテナンス等の分野で事業展開を行っています。 <航空事業> ・救急医療の現場航空医療搬送(ドクターヘリ)の運航 ・官公庁のヘリや消防の防災ヘリ等の受託運航 ・災害時における航空写真の緊急撮影や巡視、調査支援 ・ヘリポート設計、コンサルティング　等 <空間情報事業> ・計測技術（レーザ計測、写真測量等）と解析技術によるインフラ点検診断、防災減災向けモニタリング（道路、河川砂防、鉄道、電力インフラ等） ・各種3次元データの作成と利活用による防災・減災やまちづくりの支援 ・航空機(ヘリ、ドローン、空飛ぶクルマ等)の運航ルート検討　等 朝日航洋株式会社				
	ホームページ	https://www.aeroasahi.co.jp/				
発表	発表タイトル	3D都市モデル、IoT/ビッグデータを活用した防災減災・インフラモニタリング支援				
	発表概要	<3D都市モデル(※)作成及び利活用サービス> ●国土交通省が推進するProject “PLATEAU(プラトー)”や静岡県のVIRTUAL SHIZUOKAへの関与実績をはじめ、本分野の知見を活かした都市空間の3D化による都市空間情報プラットフォームの作成やその利活用についてご紹介します。 ・活用例：都市計画立案の高度化、防災減災シミュレーション、景観検討、ドローンや空飛ぶクルマの飛行ルートの検討、インフラ老朽化対策等 ※スマートシティの実現に欠かせないデジタル基盤。実世界（フィジカル空間）の都市を仮想的な世界（サイバー空間）に再現した3次元の地理空間データ <IoT/ビッグデータによる道路見守りサービス> ●地域を走行するコネクティッドカーからセンシングしたビッグデータを活用し、路面調査や道路環境調査等のコスト削減、効率化、省人化を図る技術をご紹介します。 ・活用例：路面性状の把握、交通安全対策、渋滞対策、道路整備の効果測定、道路の通行状況や凍結、浸水検知等				
面談希望内容		<3D都市モデル作成及び利活用サービス> ●都道府県や市区町村のまちづくりや防災等の部門(都市計画、防災危機管理、観光、企画政策部門等）向けに、高度なまちづくりや防災を実現するスマートシティ推進のためのデジタル基盤となる3D都市モデルの作成及び利活用事例等のご案内 <IoT/ビッグデータによる道路見守りサービス> ●国県市町村道の道路維持管理部門、都道府県や市区町村のまちづくり等の計画策定部門(交通計画、道路整備計画、地方創生、観光等)向けに、道路に関連する課題に応じた提供データやソリューション等のご案内				

㈱大林組（おおばやしぐみ）

発表時間		【B-11】 15：15～15：35				
団体情報	所在地	東京都	団体種別	民間企業	所属業界	建設
	取組分野	■ 交通モビリティ □ 観光・地域活性化 □ セキュリティ ■ エネルギー ■ 健康・医療 □ 物流 ■ 防災 ■ 農林水産業 ■ 都市計画・整備 ■ インフラ維持管理 ■ 環境 ■ その他				
	団体概要	・当社は、2012年からデータプラットフォームを活用したまちづくりサービスの考え方を提唱し、当社の技術研究所で導入しました。 ・その後、「綱島SST（サスティナブル・スマートタウン）」では、プラットフォームの実装～運用を担い、現在も、様々な個別サービスの導入可能性について検討しています。 ・これら、プラットフォームの構築～運用で得た知見やノウハウと、リアルな都市やインフラの開発・構築の実績をベースに、自治体様や企業様が抱える様々な課題について、地域創生やまちづくり・施設整備の各プロセス（「計画」～「建設」～「運用」）で、その解決に貢献させて頂きたいと考えます。 OBAYASHI				
	ホームページ	https://www.obayashi.co.jp/				
発表	発表タイトル	データプラットフォーム「SCIM」を核としたスマートサービスの提供				
	発表概要	● 発表のポイントと流れ ・データプラットフォームによるエリアマネジメントを中心にスマートシティへの取組みをご紹介。 ・取組みの経緯や考え方、導入実績事例、個別のスマートサービスの展開をご説明。 ● データプラットフォーム「SCIM」と連携したソリューションサービス ・街区・施設（建物、地盤、インフラ）や利用者に関するあらゆる情報を3D-BIMモデルと連動する形で一元化・見える化するデジタルツインを核としたデータプラットフォームを構築。 ・データプラットフォームを核に、リアルタイムで情報を収集・分析・発信することにより、計画から運用まで、まちのライフサイクルの各段階で様々な分野のソリューションサービスを実現。				
面談希望内容		● 地域創生を推進する自治体様 ・少子高齢化やwithコロナの状況下、複数の地域課題の同時解決を模索しておられる自治体様に対し、データプラットフォームを活用したコンパクトで持続可能なスマートサービスの検討・構築のお手伝いをさせて頂きたいと思います。 ● スマートシティの視点でまちづくりや複数施設の整備を検討する企業様 ・デベロッパーや大学/製造業等の皆様に対し、事業参画や全体コーディネートを含め、街区や施設のスマート化に向けた検討のサポートをさせて頂きたいと思います。 ● 個別のスマートサービスご提供企業様 ・様々な個別分野のスマートシティ関連サービスの実装を検討しておられる企業様に対し、当社と共に、複数分野にわたるスマートサービスのパッケージ構築～地域への適用をご一緒させて頂ければと思います。				

インテル㈱（いんてる）

発表時間		【C-01】 10：00～10：20				
団体情報	所在地	東京都	団体種別	民間企業	所属業界	製造
	取組分野	■ 交通モビリティ □ 観光・地域活性化 □ セキュリティ □ エネルギー □ 健康・医療 □ 物流 □ 防災 □ 農林水産業 □ 都市計画・整備 □ インフラ維持管理 ■ 環境 ■ その他				
	団体概要	・インテルは、IT 業界を代表する企業であり、世界の進歩を支え、私たちの生活を豊かにする革新的なテクノロジーを創造しています。今日、人工知能 （AI）、5Gネットワーク変革、インテリジェント・エッジなど、業界の転換点となる技術が台頭していますが、インテルのシリコン／ソフトウェア技術はこの変化を加速させる、中核的な役割も担っています。 ・このような革新的なテクノロジーの活用が進み、新しいテクノロジーを生かしたさまざまなコンピューティング機器の増大により、膨大な量のデータが日々、生成され、データは私たちの生活やビジネスの変革を生み出す力となりました。インテルは、テクノロジーの信頼性とパフォーマンスに優れたリーダー企業として、生活者、企業・団体、社会がデータのもつ価値を世界規模で活用できるよう、データの可能性を切り拓いています。 				
	ホームページ	www.intel.co.jp				
発表	発表タイトル	DX推進に向けて、地域でのデジタル人材育成をお手伝いします				
	発表概要	・地方自治体様や地域の関連団体様を対象に、デジタル・トランスフォーメーション(DX)を推進していく、データ分析からAI活用が可能なデジタル人材の育成をご支援いたします。 ・当プログラムは準備編、理論編、実践編の3つの構成となっています。準備編では地域の特性、運営、課題、既存の状況を踏まえ、当プログラムのゴールとすべき社会課題の解決を議論します。理論編ではセミナー形式でAI入門やデータ分析入門を、座学とハンズオン形式で、それぞれ1-2日で行います。次に実践編として、ハッカソンで社会課題の解決を定義し、それを実現するシステム構築をインテルがファシリテートしながら行います。数週間から数か月の期間を想定しています。 ・なお、当プログラムの参加者はITに関する基礎知識を有している方を対象とします。また当プログラムは無償でのご提供となりますが、参加者の使用機材等は実費での負担とさせていただきます。				
面談希望内容		・デジタル人材が不足しているため、人材を育成して増やしたい、デジタルトランスフォーメーション(DX)を推進したいとお考えの地方自治体様を対象としています。 ・また地方自治体の職員様のみならず、地方自治体様で推進されたいデジタルトランスフォーメーションやスマートシティ化などの施策に関わる地域の関連団体様、企業様も対象といたします。				

PwCコンサルティング合同会社（ぴーだぶりゅーしーこんさるてぃんぐ）

発表時間		【C-02】 10：25～10：45				
団体情報	所在地	東京都	団体種別	民間企業	所属業界	サービス
	取組分野	■ 交通モビリティ ■ 観光・地域活性化 ■ セキュリティ ■ エネルギー ■ 健康・医療 ■ 物流 ■ 防災 ■ 農林水産業 ■ 都市計画・整備 □ インフラ維持管理 □ 環境 ■ その他				
	団体概要	・弊社は、経営戦略の策定から実行まで総合的なコンサルティングサービスを提供しており、155か国に及ぶPwCグローバルネットワークと連携しながら、クライアントが直面する複雑で困難な経営課題の解決に取り組み、市場における競争力を高めることを支援します。 ・スマートシティ領域では国内外で50件超のプロジェクト実績を有しており、自治体・民間企業、都市・地方など多様なケースにおいて、構想策定から企画策定、実証構築支援、導入・運用支援まで幅広い支援が可能です。 ・また持続可能なスマートシティの在り方に関するレポート (https://www.pwc.com/jp/ja/knowledge/thoughtleadership/smart-city2050.html) およびコラム (https://www.pwc.com/jp/ja/knowledge/column/smartcity.html) も発信しております。				
	ホームページ	https://www.pwc.com/jp/ja/about-us/member/consulting.html				
発表	発表タイトル	都市を舞台にしたフィジカル・デジタルの連携による都市機能のスマート化				
	発表概要	【目的】 ・日本のまちを取り巻く環境は、人口構造の変化に加え、災害リスクへの対応、COVID-19などの有事対応、気候変動への対応など、対処すべき課題が複雑化しています。 ・これらの課題は自治体また企業単独での対処は難しく、共創のもとに都市機能の維持・強化をしていく仕組みが求められています。 ・共創のためにフィジカル(ex.協力体制)およびデジタル(ex.データ連携)の両面で連携できる仕組みを構築し、課題に対応していくことが都市機能の向上・スマート化に資すると考えています。 ・また関係者から理解・協力を得て共創するためにも、共通指針としてのビジョンを描くことも必要です。 ・本イベントでは共創による課題解決の仕組みの構築および都市機能のスマート化について発表いたします。 【発表予定のアジェンダ】 ・持続可能なまちづくりに必要な要素 ・市民・自治体・企業の共創を促す仕組みの構築方法 ・共創が実現されることによる未来 ・仕組み構築の論点				
面談希望内容		● マッチング相手の想定 ・地方公共団体、コンソーシアム・協議会、民間企業 ● 面談内容 【地方公共団体、コンソーシアム・協議会】 ・対象都市の状況(ex.抱える喫緊の課題 など) ・対象都市のデータ化および活用の状況 ・貴団体におけるスマートシティの取り組み 【民間企業】 ・貴団体におけるスマートシティの取り組み				

Vivasia S&C㈱（びべいじあえすあんどしー）

発表時間		【C-03】 10：50～11：10				
団体情報	所在地	東京都	団体種別	民間企業	所属業界	その他
	取組分野	■ 交通モビリティ ■ 観光・地域活性化 ■ セキュリティ □ エネルギー □ 健康・医療 □ 物流 ■ 防災 □ 農林水産業 ■ 都市計画・整備 □ インフラ維持管理 □ 環境 ■ その他				
	団体概要	・当社は以下の事業を行っています。 ■機構関連専門商社（中国、ベトナムメーカー） ・スマートタワー for スマートシティ, 5G（商品名:Dicecell） ・板金、切削、アルミダイカスト、アルミ押出製品のODM/OEM ■海外ビジネス、コストダウン、品質等のサポートやコンサルティング ・スマートタワー（Dicecell）でスマートシティに貢献したいと思います。 ・スマートシティのサービスに必要な機能を有し、お客様のニーズに合わせてカスタマイズができます。 				
	ホームページ	https:///www.vivasia.org				
発表	発表タイトル	スマートタワー（Dicecell）の活用について				
	発表概要	■ スマートタワー（Dicecell）の機能、特徴のご紹介 ■ スマートシティでの活用 ・5G/4G基地局の収納、デジタルサイネージ、カメラ、充電設備などスマートシティのサービススポットとしての活用をご提案します				
面談希望内容		・スマートシティの事業主体となる自治体、デベロッパー、ゼネコン、携帯電話オペレーターを主なお客様と想定しています。 ・スマートタワーとして、5G基地局、デジタルサイネージを使った広告や広報、EVや電動自転車等の充電スポット、災害時のスマホ充電、モニタによる防犯や混雑状況チェックなど各種サービスのコネクティングポイントとしての活用をご提案させて頂きます。 ・スマートシティでは目立つランドマークとして、各種サービスの提供と運用による継続的な収益に貢献させて頂ければと存じます。				

㈱福山コンサルタント（ふくやまこんさるたんと）

発表時間		【C-04】 11：15～11：35				
団体情報	所在地	東京都	団体種別	民間企業	所属業界	建設
	取組分野	■ 交通モビリティ ■ 観光・地域活性化 □ セキュリティ □ エネルギー □ 健康・医療 □ 物流 □ 防災 □ 農林水産業 ■ 都市計画・整備 ■ インフラ維持管理 ■ 環境 □ その他				
	団体概要	・弊社は、主に行政をクライアントとする建設コンサルタントを営んでおり、都市、交通、環境に関連する地域課題の分析と対策の検討・提案や、対策の具現化に向けた設計や実施計画の策定などを主に行っています。 ・地域課題の解決に向け、都市交通施策の検討の他、地域の様々な団体との連携方策の検討や実践を行ってきましたが、近年のICT技術の進展に伴い、地域課題解決への情報化技術の適用の検討を行い、未来技術事業やスマートシティのコーディネートにも参画しています。 ・特に、中心市街地活性化、観光活性化、健康促進分野でのビッグデータ解析を中心に現状分析や交通行動モデルによる予測等のソリューションを関連企業の皆様と協力して開発しています。また、環境分野では、近年グリーンインフラに関する取り組み（街中の憩い空間形成等）に注力し、緑を活かしたまちづくりに取り組んでいます。				
	ホームページ	https://www.fukuyamaconsul.co.jp/index.cfm				
発表	発表タイトル	当社のスマートシティへの取り組みとソリューション				
	発表概要	1.当社のスマートシティへの取り組み視点 ・地域主体、持続可能性を見据えた体制構築、様々な企業の持つソリューションと地域資源の融合による地域課題解決方策の提案 2.当社の取組 ・弊社におけるスマートシティの取り組み（発展・自立に向けた取り組み） （新潟市、守谷市における取り組み（自立支援、グリーンインフラ等）） 3.スマートシティに関するソリューション（コロナ禍の克服に向けて） ・スマートシティに関する取り組みを支援する弊社のソリューションツールの紹介 （ビッグデータ分析、歩行流動把握ツール、スマート・プランニング（歩行回遊シミュレーション）、地域団体との連携（PFI、グリーンインフラなど）） ・ソリューションを活用した施策検討の紹介（街中の魅力向上・回遊向上を高めるグリーンインフラの取り組み（大丸有エリアのグリーンインフラ活用計画立案の実績など））				
面談希望内容		■ 希望する面談相手 ①スマートシティの継続的な実現を図るために、組織体制の在り方、持続可能な運用体制を目指す行政団体やディベロッパー ②中心市街地の賑わい創出（観光誘客、グリーンインフラ活用、ウォーカブル推進等）、高齢者等の健康促進などの課題を掲げている行政団体 ■ 面談内容（弊社への期待される役割） ①行政や地域課題を有する地域団体と様々なソリューションツールを保有する民間企業のつなぎ役やツールの活用方策の検討、全体コーディネート役などのけん引役 ②中心市街地活性化、観光促進、高齢者等の健康促進のため、「人の移動」の利便性を高めるため、人流等のビックデータを用いた解析や、スマート・プランニング技術を用いて、施策導入による人流を予測・評価するシミュレーションの実施 ③現状課題やシミュレーション結果を踏まえた、地域課題を解決するための具体施策の立案（グリーンインフラ、地域活動、交通対策、施設誘導等）				

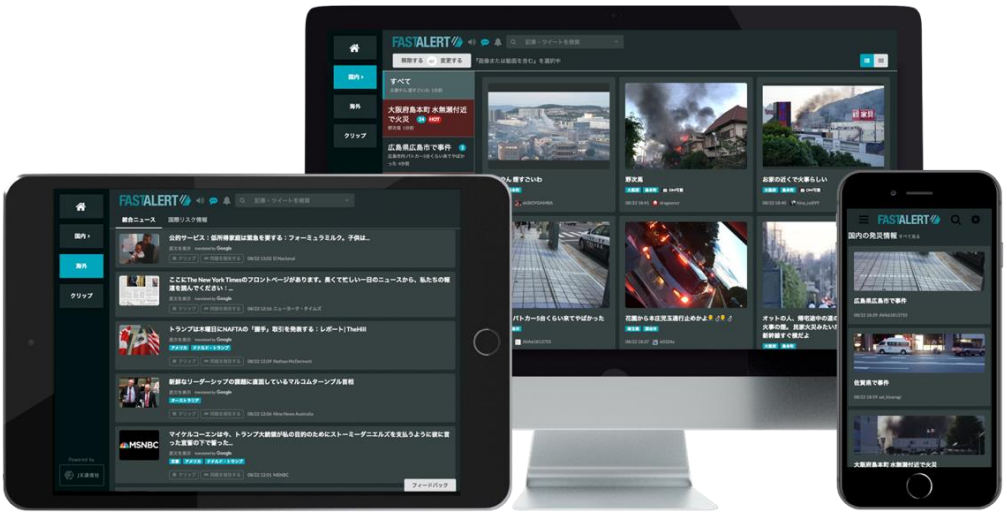
京セラコミュニケーションシステム㈱（きょうせらこみゅにけーしょんしすてむ）

発表時間		【C-05】 11：40～12：00				
団体情報	所在地	京都府	団体種別	民間企業	所属業界	サービス
	取組分野	■ 交通モビリティ □ 観光・地域活性化 □ セキュリティ ■ エネルギー □ 健康・医療 ■ 物流 □ 防災 □ 農林水産業 □ 都市計画・整備 □ インフラ維持管理 □ 環境 ■ その他				
	団体概要	・京セラコミュニケーションシステム（KCCS）は、1995年に京セラ株式会社より分離独立し、現在では、「ICT」「エンジニアリング（通信・環境エネルギー）」「経営コンサルティング」の分野において事業を展開しています。 ・事業を通して、Sustainable Development Goals（SDGs）の実現に努めるべく、AI、IoT、5G（第5世代移動通信システム）をはじめとする先端技術と、京セラグループとして推進する再生可能エネルギー事業のノウハウなどを融合させ、世の中にない新たなサービスを生み出し、社会に貢献することを目指しています。 ・特に自治体様向けには「自動運転を活用したモビリティサービス」、「ローカル5Gなどの通信」、「再生可能エネルギーの活用」のご提案を進めております。 KYOCERA 京セラ コミュニケーションシステム				
	ホームページ	https://www.kccs.co.jp/				
発表	発表タイトル	自治体様・地域事業者様と取り組む「モビリティサービス」と「地域インフラ事業」のご紹介				
	発表概要	・弊社が取り組む「自動配送ロボットの実証実験」、「バス自動運転実証」、「AIデマンドバスの実証実験」、「再エネデータセンターを核とした地域エネルギーシステム構築」、「地域ブロードバンドインフラの構築」についてご紹介させていただきます。				
面談希望内容		・スーパーシティの取り組みの中で、インフラとしての自動運転関連の事業を実装されたい自治体様や再エネを活用したシステム構築を弊社とともに実施していただける自治体様との個別で面談したいと考えております。弊社はNEDOの「自動走行ロボットを活用した新たな配送サービス実現に向けた技術開発事業」に採択されており、実際に自動運転の実証試験を進めている企業となっております。 ・参考URL：https://www.kccs.co.jp/news/release/2020/0902/				

京セラ㈱（きょうせら）

発表時間		【C-06】 13：00～13：20				
団体情報	所在地	京都府	団体種別	民間企業	所属業界	製造
	取組分野	■ 交通モビリティ □ 観光・地域活性化 □ セキュリティ ■ エネルギー ■ 健康・医療 ■ 物流 ■ 防災 □ 農林水産業 □ 都市計画・整備 ■ インフラ維持管理 ■ 環境 □ その他				
	団体概要	<会社概要> (2020年3月31日現在) 設立：1959年4月1日 資本金：115,703百万円 グループ会社数：298社 グループ従業員数：75,505名 ・京セラは、ファインセラミックスのリーディングカンパニーとして産業機器から自動車、エネルギー分野まで幅広く製品を供給するとともに、その独創的な発想と技術を強みに、ICT時代の社会インフラを支える無線通信、エネルギー関連事業など広範な事業をグローバルに展開しています。				
	ホームページ	https://www.kyocera.co.jp/				
発表	発表タイトル	安心・安全な地域社会実現に貢献する京セラコネクティングサービス				
	発表概要	・京セラは高耐久やシニア向け等の独自機能を搭載した通信端末を、企画・開発から製造、販売、アフターサービスまで国内での一貫体制で提供しており、そこで培った通信技術を応用することで地域社会の発展に貢献したいと考えております。 ・今回はその具体的な製品・サービス事例として、 1. 災害時・非常時にも「つながる」 MCAアドバンス無線機 2. 子供や高齢者が地域社会と「つながる」 見守りIoTソリューション 3. インフラ維持管理や物流のDXに「つながる」 5Gコネクティングサービス の3つについて発表いたします。				
面談希望内容		・地域防災/子育て・高齢者支援/インフラ維持管理・物流などに課題をお持ちの自治体/事業者の皆様 ・セルラー(4G/5G)技術を自社サービスに活用したいと考えられている製品/ソリューションベンダー様				

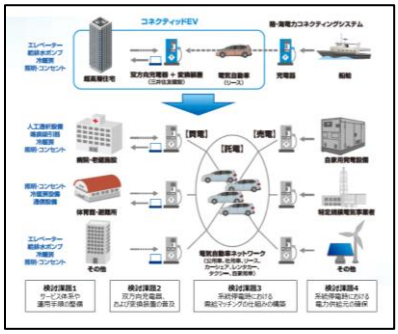
㈱JX通信社（じぇいえっくす つうしんしゃ）

発表時間		【C-07】 13：25～13：45				
団体情報	所在地	東京都	団体種別	民間企業	所属業界	サービス
	取組分野	□ 交通モビリティ □ 観光・地域活性化 ■ セキュリティ □ エネルギー □ 健康・医療 □ 物流 ■ 防災 □ 農林水産業 ■ 都市計画・整備 ■ インフラ維持管理 □ 環境 □ その他				
	団体概要	・JX通信社はAIビッグデータ防災センサ「FASTALERT」を報道機関をはじめ、地方自治体、消防、警察にご提供しています。 ・SNSや、自社運営のニュースアプリユーザー400万人からの投稿データをもとに、特定地域・特定分野の緊急情報を60秒で検知・配信し、昨今注目されるSNS防災を廉価に実現します。 ・激甚化・局地化の進む昨今の事前災害やテロ等のリスクに、現地の詳細な映像取得を実現し、適切な初動計画を立案することが可能となります。 ・実証事業にあたってのアカウント提供もお気軽にお声がけください。 				
	ホームページ	https://jxpress.net/				
発表	発表タイトル	SNS緊急情報サービス「FATALERT」によるスマートAI防災の廉価な実現				
	発表概要	・JX通信社はAIビッグデータ防災センサ「FASTALERT」を報道機関をはじめ、地方自治体、消防、警察にご提供しています。 ・SNSや、自社運営のニュースアプリユーザー400万人からの投稿データをもとに、特定地域・特定分野の緊急情報を60秒で検知・配信し、昨今注目されるSNS防災を廉価に実現します。 ・激甚化・局地化の進む昨今の事前災害やテロ等のリスクに、現地の詳細な映像取得を実現し、適切な初動計画を立案することが可能となります。				
面談希望内容		【想定部門】 ・自治体防災担当、広報担当、河川・道路担当、水道・ガス等企業局の方々 【ご相談内容】 ・「FASTALERT」導入の実証実験実施（無償でアカウントをご提供いたします）。 ・地域の防災・危機管理に関する課題をお伺いし、どのような情報が取得可能か、その情報をどのように活用するべきか、実際のデータに触れていただきながら、ご確認いただきます。				

㈱デンソー（でんそー）

発表時間		【C-08】 13：50～14：10				
団体情報	所在地	愛知県	団体種別	民間企業	所属業界	製造
	取組分野	■ 交通モビリティ □ 観光・地域活性化 □ セキュリティ	■ エネルギー □ 健康・医療 □ 物流	■ 防災 □ 農林水産業 □ 都市計画・整備	■ インフラ維持管理 □ 環境 □ その他	
	団体概要	・デンソーは、先進的な自動車技術、システム・製品を世界中のメーカーに提供するグローバルな自動車システムサプライヤーです。自動車で培った技術や知見を「ものづくり」「ソサエティ」の事業ドメインに広げ、世の中のより多くの課題に向き合うことで、CO2ニュートラルといった地球環境の維持、社会の安心・安全に貢献するソリューションを提供しています。 ・自動車関連以外の事業として、住民へのタイムリーな情報配信や防災・生活サポートを実現する防災・行政情報配信システム、省エネルギーや蓄エネルギー、再生可能エネルギーの活用を実現するエネルギーマネジメント機器。社会インフラの安全に貢献する橋梁点検サービス、その他にも新たなモビリティサービス、ものづくり・産業や農業の自動化の事業に挑戦しています。 【連結売上】5兆1,535億円（2020年3月期）【従業員数（連結）】170,932人 DENSO Crafting the Core				
	ホームページ	https://www.denso.com/jp/ja/				
発表	発表タイトル	地域の非常時と平常時の安心・安全を実現するデンソーの社会ソリューション				
	発表概要	1．防災・行政情報配信システムを活用した安心・安全ソリューション ・非常時に防災情報を配信する地域の防災・行政情報配信システム。住民×行政をつなぐこのシステムを住民×○○で活用し、コロナ禍における遠隔での教育や医療相談、高齢者の見守り、密を避けた移動予約等の日常の安心・安全ソリューションへ応用します。 2．EV/PHVとV２H充放電器を活用したレジリエンス強化 ・平常時にはEV/PHVの充放電を制御し再エネ活用につなげるV2H充放電器。非常時にはEV/PHVが電気を運び、停電の避難所へ給電し、エリアのレジリエンス強化につなげます。 3．UAVを活用した橋梁点検サービス ・橋梁点検に、デンソーが独自開発したUAV（ドローン）を活用。UAVで撮影した画像から損傷やひび割れを検出、解析し、損傷図までワンストップで提供。橋梁インフラの安心・安全の維持に貢献します。				
面談希望内容		・今回、紹介するソリューション（防災・行政情報配信システムを活用した安心・安全ソリューション、EV/PHVとV２H充放電器を活用したレジリエンス強化、UAVを活用した橋梁点検ソリューション）は全て、地域の安心・安全につながるソリューションです。 ・新しい技術を用いる事で積極的に地域の安心・安全につなげていこうという意欲のある地方自治体様、ソリューションの効果を確認しながら新たな提案を取り入れようとする地方自治体様との面談を希望しております。				

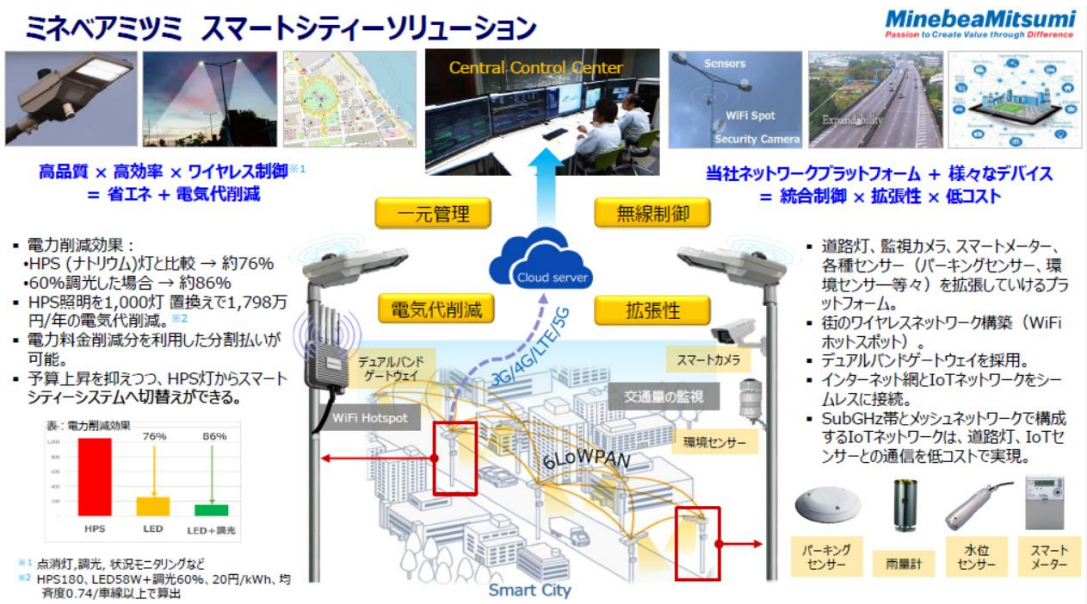
三井住友建設㈱（みついすみともけんせつ）

発表時間		【C-09】 14：15～14：35				
団体情報	所在地	東京都	団体種別	民間企業	所属業界	建設
	取組分野	□ 交通モビリティ □ 観光・地域活性化 □ セキュリティ	■ エネルギー □ 健康・医療 □ 物流	■ 防災 □ 農林水産業 □ 都市計画・整備	■ インフラ維持管理 □ 環境 □ その他	
	団体概要	・三井住友建設は、土木分野および建築分野において培った技術力、ものづくりのノウハウを活かし、地域の発展を支える社会基盤の整備など、そのフィールドを世界に広げる事業を展開しています。 ・土木事業は、橋やトンネル、鉄道、上下水道など社会基盤を支える土木構造物の設計・施工、維持管理に最適な技術を提供します。建築事業は、集合住宅、商業施設、物流倉庫、オフィスや生産施設の設計・施工、維持管理を実現します。また、災害に強い施設づくりへの対応やお客さまの事業発展に欠かせない施設整備・再構築などを提供します。 ・さらに「社会課題解決型事業」と「再生可能エネルギー事業」に挑戦しています。民間企業のノウハウを活用し、公共施設の運営に参画する事業、遊休地やため池などを活用した再生可能エネルギー事業など、当社がこれまでに培ったノウハウと新しい発想を融合してさまざまなソリューションを提供しています。 三井住友建設  				
	ホームページ	https://www.smcon.co.jp				
発表	発表タイトル	災害（地震）に強いスマートシティの実現				
	発表概要	・災害（地震）に強い都市を実現するには、ハード、ソフトの両面から、発災前からの備えと発災後の対応が重要です。「公共施設等総合管理計画」に基づき、旧耐震施設を引き続き有効利用する場合、遵法性評価や耐震診断を行い、耐震性能向上の要否を評価します。特に事業継続計画において災害対策本部を設置する予定の市庁舎や避難所に指定されている学校施設等は優先的に必要な措置を実施します。 ・発災後は建物構造安全性情報提供サービスにより、各施設の余震に対する安全性に関する情報を把握し、円滑な初動に活用します。陸・海電力コネクティングシステムを市庁舎や避難所、病院や福祉施設等での電力確保に利用し、二次災害の防止や追加の災害対策の発生を抑制します。地盤計測システムは土砂災害の予測を支援するデータを提供します。 ・これらのシステムを自治体の都市OSと連携することにより、災害（地震）に強いスマートシティの実現を目指します。				
面談希望内容		以下の要望をお持ちの自治体との面談を希望します。 ① 災害（地震）に強いスマートシティの実現を目指している ・都市OSは実装済みで防災対策を強化したい　・都市OSの実装と防災対策を同時に推進したい ・都市OSを実装した自治体施設にEVを利用した非常用電源を導入したい ② 自治体レベルでの2050年カーボンニュートラルを目指している ・グリーン電力を自治体施設で利用したい　・自治体資産を活用して再エネ事業を実施したい ③ 自治体資産を有効活用し、継続使用する施設の維持管理費用を捻出したい ・自治体資産を有効活用し、民間利用による収益化を図りたい・ESCO事業により自治体負担の追加なしに設備更新を行いたい 以下の要望をお持ちの自治体との面談を希望します。 ① 災害（地震）に強いスマートシティの実現を目指している ・都市OSは実装済みで防災対策を強化したい　・都市OSの実装と防災対策を同時に推進したい ・都市OSを実装した自治体施設にEVを利用した非常用電源を導入したい ② 自治体レベルでの2050年カーボンニュートラルを目指している ・グリーン電力を自治体施設で利用したい　・自治体資産を活用して再エネ事業を実施したい ③自治体資産を有効活用し、継続使用する施設の維持管理費用を捻出したい ・自治体資産を有効活用し、民間利用による収益化を図りたい・ESCO事業により自治体負担の追加なしに設備更新を行いたい ④ 自治体が管理するインフラの管理を委託したい ・自治体管理の橋の管理を一括委託したい ⑤ ①～④の組み合わせを公民連携により実現し、住民サービスの向上を図るスマートシティを実現したい				

エバタ㈱（えばた）、秩父ケミカル㈱（ちちぶけみかる）

発表時間		【C-10】 14：50～15：10				
団体情報	所在地	東京都	団体種別	民間企業	所属業界	製造
	取組分野	□ 交通モビリティ　□ エネルギー　■ 防災　□ インフラ維持管理 □ 観光・地域活性化　□ 健康・医療　□ 農林水産業　□ 環境 ■ セキュリティ　□ 物流　■ 都市計画・整備　□ その他				
	団体概要	【団体結成の目的・経緯】 ・「エバタ株式会社」・「秩父ケミカル株式会社」は、プラスチック製雨水貯留浸透製品の普及を主力事業とし、雨水流出抑制による浸水被害軽減を通じて、安心・安全な街づくりへの貢献を図ってきました。今後は両社協働による技術提案活動により、雨水の有効活用も視野に入れ、防災・環境に対応したシステム構築を目指します。 【団体の保有する技術】 ① 地中埋設型のプラスチック製雨水貯留構造体 ② 雨水利用技術（地上設置型と地中埋設型） 				
	ホームページ	（エバタ）https://www.ebata.co.jp/ （秩父ケミカル）https://www.titibu.co.jp/				
発表	発表タイトル	「水循環」の改善技術で、スマートシティ実現への提案				
	発表概要	１．保有する技術の紹介 ① プラスチック製雨水貯留構造体 ・雨水の流出抑制を目的とした地下埋設型の構造体で、貯留空間の割合が大きく軽量のため、施設のコンパクト化や人力施工が可能となり，経済的なメリットが向上します。 ② 雨水利用技術（地上設置型と地中埋設型） ・溜めた雨水は、散水等への利用により上水の節水に貢献し、トイレの流し水としても活用できます。 ２．スマートシティ実現に向けた課題解決イメージ ① 浸水リスクを軽減したスマートシティの実現に向けた上部利用の自由度向上 ・駐車場の下にも設置可能な地下埋設技術で、有益な土地を創出できます。 ② 気象予測データを活用した保雨装置の有効活用 ・気象予測を感知し溜めた雨水を制御できれば、”治水”と”利水”の両方に対応した装置が構築できます。 ③ 防災拠点における利用可能な水の確保 ・プラスチック製雨水貯留構造体を避難場所等に設置することで、非常時の水の確保が期待できます。				
面談希望内容		【シーズ】…Iot技術を保有している企業様 ・当団体が取り組む課題として、「浸水リスクの低減」・「水資源の有効利用」が挙げられます。これらの課題解決で、スマートシティの実現を図るためには、降雨特性や雨水利用状況等の分析、保雨装置のコントロールが必要となり、Iot技術を保有している企業様とのコラボを希望しています。 【ニーズ】…「水循環」の改善技術が必要とされている自治体様 ・地球温暖化の影響で、豪雨が頻発し浸水被害が深刻化しています。また一方で降水量の変動が年々大きくなり、少雨による渇水も増加しています。よって今後ますます重要となってくる「治水」と「利水」の両方に当団体の技術が貢献できると考えており、「水循環」の改善技術でスマートシティ実現に向けた、ニーズとシーズのマッチングを希望しています。				

ミネベアミツミ㈱（みねべあみつみ）

発表時間		【C-11】 15：15～15：35				
団体情報	所在地	長野県	団体種別	民間企業	所属業界	製造
	取組分野	□ 交通モビリティ □ 観光・地域活性化 □ セキュリティ	■ エネルギー □ 健康・医療 □ 物流	■ 防災 □ 農林水産業 ■ 都市計画・整備	■ インフラ維持管理 ■ 環境 □ その他	
	団体概要	・当社は、機械加工品事業、電子機器事業などの製造を中心とした「相合」部品事業会社です。 ・当社が提案するのは、無線機能を搭載したLED道路灯をクラウドで一元管理と各種センサーなどと組み合わせることで省エネルギー、利便性向上などの貢献するスマート道路照明ソジューションです。  				
	ホームページ	https://www.minebeamitsumi.com/				
発表	発表タイトル	スマート道路照明とスマートシティソリューション				
	発表概要	①無線機能を搭載したLED道路灯 ②道路灯性能：省エネルギーの実現（消費電力・CO2排出の大幅な削減） ③維持管理の効率化 （無線で道路灯をコントロール、照明制御・不点灯監視など一元管理） ④道路灯のネットワークに各種センサーを繋げ、防災情報などを提供し、安全性の向上				
面談希望内容		・道路灯管理の方、電気代削減を考えている方、ＣＯ２削減を考えている方、防災・減災の対応をされている方、スマートシティ構想担当されている方				